

平成20年度 東京都現代美術館年報
研究紀要 第11号

20

Annual Report 2008
Bulletin No.11

08

Museum of Contemporary Art Tokyo

20 目次 08

東京都現代美術館基本方針	4
沿革	5

平成20年度年報

I

事業報告

1 企画展	① マルレーネ・デュマスーブローケン・ホワイト	14
	② ジブリの絵職人 男鹿和雄展	17
	③ 磯辺行久	19
	④ SPACE FOR YOUR FUTURE—アートとデザインの遺伝子を組み替える	29
	⑤ 川俣正[通路]	32
	⑥ MOTアニュアル2008 解きほぐすとき	35
2 常設展		38
3 教育普及事業		44
4 美術資料の収集・保存・貸出		48
5 美術図書室の活動		54
6 美術情報センター		57

II

資料

1 統計資料	① 平成19年度東京都現代美術館月別利用統計	58
	② 平成19年度東京都現代美術館予算概要	58
3 運営組織	① 職員名簿	59
	② 東京都現代美術館運営諮問委員、外部評価委員	60
4 施設概要(建物データ、美術館内マップ)		61
5 案内図		64

東京都現代美術館研究紀要

吉田克朗の1973年—文化庁芸術家在外研修員としての1年／山本雅美	65
Katsuro Yoshida's 1973: A Year Spent in the Japanese Government Overseas Study Program for Artists Masami Yamamoto	77

「現代」と「美術」を結ぶ「開かれた美術館」を実現するために――

1 「現代」と「美術」を結ぶ、魅力溢れるメッセージを発信する

東京都現代美術館は、日本の現代美術を中心とする美術作品・資料を体系的に収集・保管・展示する総合型美術館として開館以来運営してきました。これほどの規模で、日本の現代美術を常設している美術館は、国内外を通じて当館だけです。

こうした特性とともに、様々な文化が往来し、育まれる国際文化都市「東京」という舞台の利点を最大限に活かしながら、高いクオリティの追求と新たな展示手法への挑戦、そして収集作品・美術資料の積極的な公開・情報提供などにより、「現代」と「美術」を結ぶ魅力溢れるメッセージを世界に発信します。

2 「現代」を問う「美術」への、鑑賞者の裾野を広げる

「現代」を問い、「現代」を映し出そうとするコンテンポラリーアートは、これまでの“美術的なものの見方”の枠を超え、その領域や表現手法、表現内容を限りなく広げており、従来型の見方では、時に不可解で難解なものに映る傾向をもっています。このため、鑑賞力を高める積極的な教育普及活動を展開するとともに、話題性の高い展示企画をはじめ、社会や日常生活との関係を深めた親近性の高いテーマ設定の工夫、音楽演奏とのコラボレーション、さらにはホスピタリティの向上など、多角的な取組により、鑑賞者の裾野を広げます。

3 「現代」と「美術」を結ぶ、創造の担い手を育む

「現代(いま)」を映す新しいアートを、将来にわたって担い、創造・進化させていく主体は、現在の若手作家層です。当館は、東京都が文化政策指針の基本目標の第一として掲げた「世界が文化的魅力を感じる都市・東京」の中で示した「新進・若手アーティストの発掘・支援」を最重要ポリシーとして捉え、パブリックスペースを含めた全施設を活用して、「現代」と「美術」を結ぶ担い手を育てていきます。

以上の取組により、「開かれた美術館」を実現し、もって豊かな都民生活に資する、創造性と魅力に富んだ東京の都市づくりに貢献します。

沿革

昭和57(1982)年

12月 第一次東京都長期計画(昭和56-65年度)発表
新美術館区部一館、多摩地域一館を建設

昭和60(1985)年

9月 知事の諮問機関として「東京都新美術館建設構想懇談会
(嘉門安雄座長)」を設置

昭和61(1986)年

11月 「東京都新美術館建設構想懇談会」が、知事に新美術館
建設の構想について答申
第二次東京都長期計画(昭和61-70年)発表

昭和62(1987)年

10月 知事の諮問機関として「東京都新美術館建設計画委員会
(嘉門安雄委員長)」を設置

昭和63(1988)年

4月 東京都美術資料取得基金条例施行
12月 東京都新美術館美術資料収集方針決定
「東京都新美術館美術資料収集委員会」及び「東京都新
美術館美術資料評価委員会」を設置

平成元(1989)年

3月 「東京都新美術館建設計画委員会」が知事に新美術館の
建設計画について答申
10月 東京都公園審議会が、知事に木場公園の整備計画(新美
術館の設置)について答申
12月 東京都設計候補者選定委員会において設計候補者を選定
[株式会社TAK建築・都市計画研究所代表者柳澤孝彦]

平成2(1990)年

3月 都新美術館(区部)建設に伴う地質調査及び埋蔵文化財
試掘調査を実施
4月 「東京都新美術館(区部)建設推進委員会」(嘉門安雄委
員長)を設置
10月 東京都新美術館(区部)建設基本計画を発表
11月 東京都新美術館(区部)建設工事実施設計(～平成3年
5月)

平成3(1991)年

9月 東京都新美術館(区部)建設工事着工(～平成6年9月)

平成6(1994)年

4月 東京都現代美術館条例設置(東京都現代美術館発足)
財団法人東京都教育文化財団に東京都現代美術館の管
理運営を委託
9月 建設工事竣工
10月 東京都現代美術館条例施行

平成7(1995)年

3月 開館(記念式典挙行3月18日、一般公開3月19日)
開館記念展Ⅰ「日本の現代美術1985-1995」常設展「現
代美術の流れ」

平成11(1999)年

4月 組織変更に伴い、財団法人東京都教育文化財団から財
団法人東京都生涯学習文化財団に名称変更

平成14(2002)年

4月 東京都の文化施設一元化に伴い、所管が東京都教育委
員会から生活文化局に移り、管理運営委託先が財団法人
東京都生涯学習文化財団から財団法人東京都歴史文化
財団に変更

平成18(2006)年

4月 東京都が「財団法人東京都歴史文化財団」に指定管理
者として管理運営を指定(3年間)

平成19(2007)年

10月 平成21年4月から8年間「財団法人東京都歴史文化財団」
に指定管理者として管理運営を指定

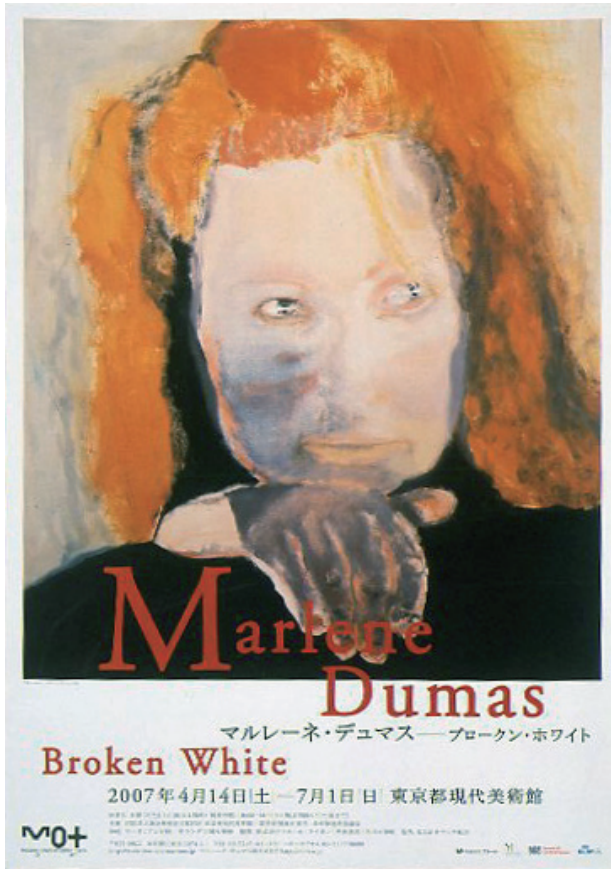
平成20(2008)年

8月 開館以来500万人の来館者を達成

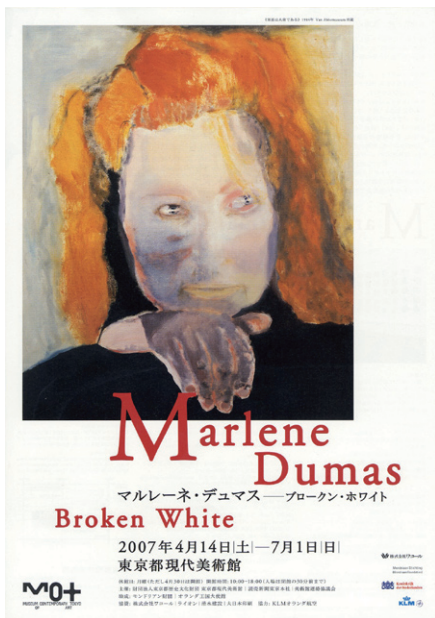
20

平成20年度年報

08



B1ポスター



A4チラシ

〔デザイン全て：下田理恵〕



展示風景

3 磯辺行久 Landscape—Yukihisa Isobe, Artist-Ecological Planner



B2ポスター、A4チラシ表



A4チラシ裏

〔デザイン全て：福岡泰隆〕



カタログ



展示風景

4 SPACE FOR YOUR FUTURE—アートとデザインの遺伝子を組み替える SPACE FOR YOUR FUTURE—Recombining the DNA of Art and Design



B1ポスター

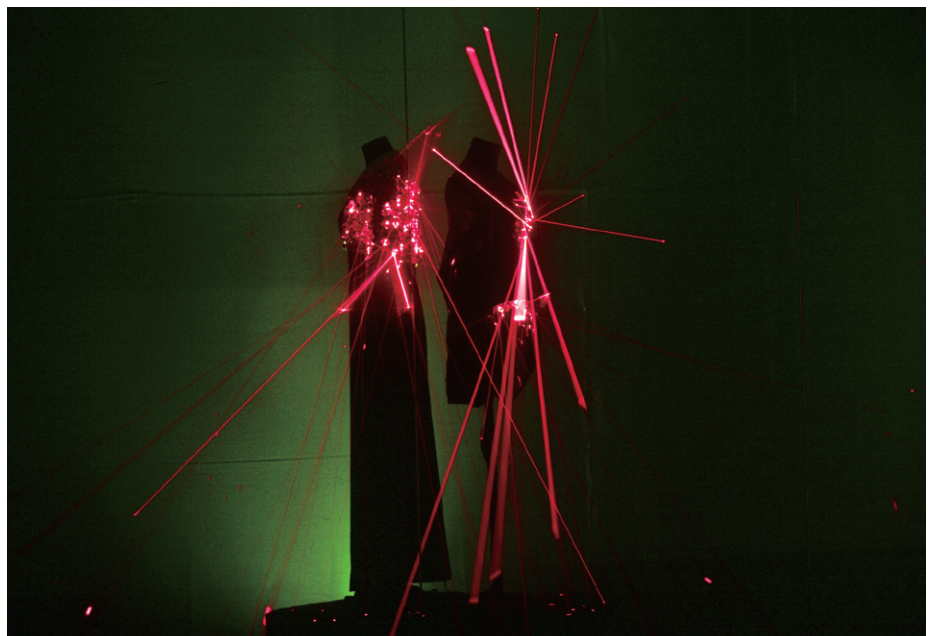


展示風景 石上純也《四角いふうせん》 2007 撮影: 木奥恵三

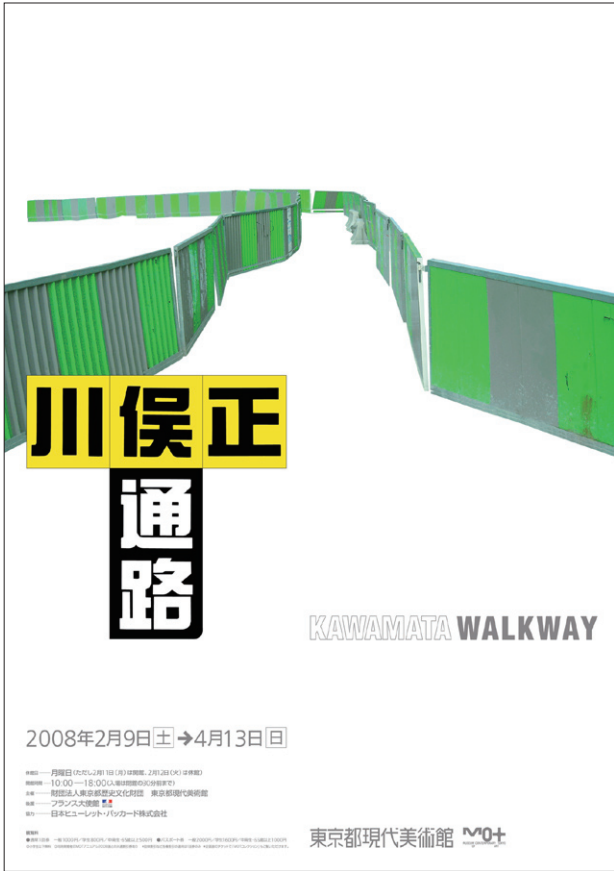


A4チラシ

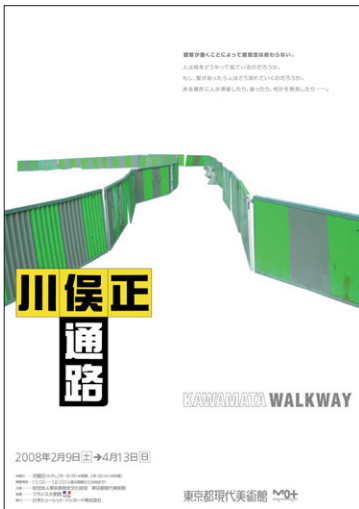
[デザイン全て: タナカノリュキ]



展示風景 フセイン・チャラヤン《レーザー・ドレス》 2007 撮影: 木奥恵三



B2ポスター



A4チラシ

[デザイン全て: 岩瀬 聡]



展示風景



B1ポスター



カタログ



カタログ展開



解説シート

〔デザイン全て：大溝裕、大塚南海子(Granz)〕



展示風景 (上から金氏徹平、高橋万里子、手塚愛子)

I. 事業報告 | 1 企画展

1 マルレーネ・デュマス—ブロークン・ホワイト Marlene Dumas—Broken White

会期	2007年4月14日(土)～7月1日(日)
会場	企画展示室1階、3階
開催日数	延べ69日間
観覧料	一般1,300円、大学生1,100円、中高生・65歳以上600円
入場者数	33,565人
一日平均	486人
出品点数	71点
カタログ	B5判変形、160頁
ポスター	B1、B3、インターサイズ
チラシ	A4

【開催趣旨】

当館の収蔵作家であり世界的に活躍する海外作家マルレーネ・デュマス(1953年生まれ、南アフリカ出身、アムステルダム在住)の新作を含む個展を、世界の現代美術の状況を伝えることを目的として行った。展覧会では、作家の10年ぶりの来日が実現し、アーティスト・トークなどの開催をとおし来館者との交流が行われた。また、日本テレビの深夜ニュース番組「News Zero」やNHK「新日曜美術館」等での紹介をはじめ各種女性誌、新聞等での広報・

批評をとおして、ターゲット層である20代～50代の女性のみならず、幅広い年代の人々に展覧会の魅力を伝えることができた。一方で世界的に注目を浴びているアーティストの日本のための新作発表を目的とした展覧会ということもあり、海外のアートファンからも注目をあつめ、世界のアートシーンにおいても当館を印象付ける展覧会となった。

【関連事業】

- (1) アーティスト・トーク
4月14日(土)14:00～16:00 参加者260人
展覧会開催に合わせて来日したマルレーネ・デュマスによる講演会
- (2) キュレーター・トーク—担当学芸員による講演会
①4月21日(土)14:00～15:30 参加者100人
②7月1日(日)14:00～15:30 参加者60人
- (3) ボランティア・ガイドスタッフによるギャラリートツアー
15名のボランティア・ガイドスタッフによるギャラリートツアーを開催
ガイド・ボランティア延べ活動人数:48人/30日
ギャラリートツアー延べ参加人数:951人
- (4) 託児サービス・デー
5月13日(日)、6月17日(日)の2回にわたり託児サービスを開催
利用者数:9組

【主要関連記事】

- (1) 新聞
三田晴夫「現代アート考 マルレーネ・デュマス展 蘇生した人間像の魅力」『毎日新聞』2007年4月24日
前田恭二「単純な分類拒む『あいまい』」『読売新聞』2007年4月26日
Julian Satterthwaite, “ARTS Weekend,” *The Daily Yomiuri*, 5月12日
田中三蔵「肖像の中に見る者の姿 マルレーネ・デュマス—ブロークン・ホワイト展」『朝日新聞』5月16日
黒沢綾子「マルレーネ・デュマス展 現代社会のポートレート」『産経新聞』2007年5月23日
馬淵明子「2007回顧美術 私の3点」『朝日新聞』12月12日
- (2) 雑誌
和田京子「今、最も高値がつかう女性アーティスト」『日経EW』2007年5月号
後藤繁雄「後藤繁雄の否定型対談13」『high fashion』2007年6月号

出品リスト

遺伝子の憧憬 1984 油彩・カンヴァス 130×110cm エイントホーフェン市立ファン・アッペ美術館	マーク・モレナールの肖像 1984 油彩・カンヴァス 50×40cm 個人蔵	芸術とはヒキガエルの織りなす物語である 1988 油彩・カンヴァス 180×90cm 個人蔵
邪悪は凡庸である 1984 油彩・カンヴァス 125×105cm エイントホーフェン市立ファン・アッペ美術館	最後の晚餐 1985-1991 油彩・カンヴァス 160×200cm 個人蔵/デ・ポント財団寄託	白雪姫と折れた腕 1988 油彩・カンヴァス 140×300cm デン・ハーグ市立美術館
ジークムントの妻マルタ 1984 油彩・カンヴァス 130×110cm アムステルダム市立美術館	人間三脚 1988 油彩・カンヴァス 180×90cm ユトレヒト中央美術館	待ちながら(意味を求めて) 1988 油彩・カンヴァス 50×70cm クンストハレ、キール

<p>ガールフレンド 1989 油彩・カンヴァス 200×160cm ABN AMRO コレクション</p>	<p>ヤング・ボーイ(カモン) 1996 ミクストメディア・紙 125×70cm Courtesy of Gallery Koyanagi</p>	<p>マスクをつけた少女 1998 ミクストメディア・紙 125×70cm Courtesy of Gallery Koyanagi</p>
<p>解放(1945) 1990 油彩・カンヴァス 130×110cm 作家蔵</p>	<p>ヤング・ボーイ(ハング・アップ) 1996 ミクストメディア・紙 125×70cm 個人蔵</p>	<p>10インチ 1999 油彩・カンヴァス 50×40cm 個人蔵</p>
<p>ヘレーナ 1992 油彩・カンヴァス 60×50cm 個人蔵</p>	<p>ヤング・ボーイ(ラブ・フィーバー) 1996 ミクストメディア・紙 125×70cm 個人蔵</p>	<p>レザーブーツ 2000 油彩・カンヴァス 200×100cm 作家蔵</p>
<p>女 1992-93 墨、木炭・紙 各32×24.5cmなど(96点) カールスルーエ市立ギャラリー、ガーナッツ・コレクション</p>	<p>ヤング・ボーイ(ベビー・フェイス) 1996 ミクストメディア・紙 125×70cm 個人蔵</p>	<p>ベルベットのカーテン 2000 油彩・カンヴァス 200×100cm Courtesy of Gallery Koyanagi</p>
<p>グループ・ショーのあと 1993 ミクストメディア・紙 42.7×60.5cm 個人蔵</p>	<p>ヤング・ボーイ(ジェンダー・ベンダー) 1996 ミクストメディア・紙 125×70cm 杉田和美</p>	<p>ピフォア・オア・アフター—革命 2000 墨・紙 230×90cm Courtesy of Gallery Koyanagi</p>
<p>グループ・ショー 1994 油彩・カンヴァス 100×300cm ユトレヒト中央美術館</p>	<p>ヤング・ボーイ(ロスト・ブラック) 1996 ミクストメディア・紙 125×70cm 杉田和美</p>	<p>白鳥 2005 油彩・カンヴァス 110×130cm Courtesy of Gallery Koyanagi</p>
<p>アンダーグラウンド 1994-95 ミクストメディア・紙 各 62×50cm(28点組み) 作家蔵</p>	<p>ストーン・フェイス 1996 ミクストメディア・紙 62.5×50cm Courtesy of Gallery Koyanagi</p>	<p>4本の花 2002 油彩・カンヴァス 30×40cm 個人蔵</p>
<p>マغدレーナ 1995 油彩・カンヴァス 200.5×100.4cm エイントホーフェン市立ファン・アッペ美術館</p>	<p>スピリット 1996 ミクストメディア・紙 各62.5×50cm(6点組み) 個人蔵</p>	<p>2個の牡蠣 2002 油彩・カンヴァス 30×40cm 個人蔵</p>
<p>スモール・ヘッド 1995 ミクストメディア・紙 各25×20cm(8点組み) 杉田和美</p>	<p>ジャパニーズ・ガール 1996 ミクストメディア・紙 62.5×50cm 個人蔵</p>	<p>仮想 1 2002 油彩・カンヴァス 125×70cm 個人蔵</p>
<p>ツイステッド 1996 油彩・カンヴァス 200×100cm 東京都現代美術館</p>	<p>外の世界から 1996 ミクストメディア・紙 62.5×50cm 個人蔵</p>	<p>仮想 4 2003 油彩・カンヴァス 125×70cm 個人蔵</p>
<p>キスのあと 1996 油彩・カンヴァス 200×100cm 個人蔵</p>	<p>酸化したポートレイト 1996 ミクストメディア・紙 62.5×50cm 個人蔵</p>	<p>作家の死 2003 油彩・カンヴァス 40×50cm ジョリー・ファン・レーヴェン氏</p>
<p>ヤング・ボーイ(乳白色) 1996 ミクストメディア・紙 125×70cm Courtesy of Gallery Koyanagi</p>	<p>酔っぱらい 1997 油彩・カンヴァス 200×100cm デ・ブライン=ハイン・コレクション</p>	<p>眠る少女 2003 ミクストメディア・紙 62×200cm Courtesy of Gallery Koyanagi</p>
<p>ヤング・ボーイ(ウエット・スーツ) 1996 ミクストメディア・紙 125×70cm Courtesy of Gallery Koyanagi</p>	<p>沼地から来た少女 1998 ミクストメディア・紙 125×46cm Courtesy of Gallery Koyanagi</p>	<p>黄色いタオル 2004 油彩・カンヴァス 200×100cm 個人蔵</p>
<p>ヤング・ボーイ(ブルー・ボディ) 1996 ミクストメディア・紙 125×70cm Courtesy of Gallery Koyanagi</p>	<p>宇宙から来た少女 1998 ミクストメディア・紙 125×70cm Courtesy of Gallery Koyanagi</p>	<p>我に触れるな 2004 油彩・カンヴァス 125×70cm ロエル・アルケスタイン氏</p>

誰でもなく 2005 油彩・カンヴァス 70×50cm ガーナッツ・コレクション	ブロークン・ホワイト 2006 油彩・カンヴァス 130×110cm Courtesy of Gallery Koyanagi	荒木経惟 無題(写狂人大日記/95年11月7日) 1995 シルバーゼラチンプリント 46×56cm 作家蔵
(ある女の)骸骨 2005 油彩・カンヴァス 110×130cm デ・ブライン=ハイン・コレクション	モシェクワ 2006 油彩・カンヴァス 130×110cm 作家蔵	月岡芳年 奥州安達ヶ原ひとつ家の図 1985 多色木版 73.8×25.9cm 横浜美術館所蔵 加藤栄一氏寄贈
隣人 2005 油彩・カンヴァス 100×90cm アムステルダム市立美術館	男のヴィーナス 2006 油彩・カンヴァス 140×300cm 作家蔵	マライケ・ファン・ヴァルメルダム Blossom 2004 16ミリカラーフィルム(2'17") 作家蔵
似た者 2005 油彩・カンヴァス 130×110cm 個人蔵	裸にされた男 2007 油彩・カンヴァス 140×300cm 作家蔵	アントン・コービン MARLENE 2000 リトプリント 78×58cm 作家蔵
マン・カインド 2006 油彩・カンヴァス 100×90cm ユトレヒト中央美術館	小さなモロッコ人ストリッパー 1999 油彩・カンヴァス 30×24cm Courtesy of Gallery Koyanagi	アントン・コービン soul 1999 カラー写真 189×122cm 作家蔵
スカーレット 2005 油彩・カンヴァス 60×50cm 個人蔵	ガール・ボーイ 1996 ミクストメディア・紙 100×62.5cm 個人蔵	アントン・コービン mind 1999 カラー写真 189×122cm 作家蔵
乳児(2) 2006 油彩・カンヴァス 130×110cm Courtesy of Gallery Koyanagi	荒木経惟 中年女たち(206点組み) 1965 RCペーパー 世田谷美術館	

2 ジブリの絵職人 男鹿和雄展 Kazuo Oga Exhibition

会期	2007年7月21日(土)～9月30日(日)
会場	企画展示室1階, 3階
開催日数	延べ66日間
観覧料	大人・大学生1,100円、中・高生900円、小学生・65歳以上600円
入場者数	288,104人
一日平均	4,365人
出品点数	648点(うち8点は技法解説資料)
カタログ	A4変型、264頁
ポスター	B1タテ、B2ヨコ
チラシ	A4
会場マップ	A4
主催	財団法人 東京都歴史文化財団 東京都現代美術館、日本テレビ放送網株式会社
企画制作協力	スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館

【開催趣旨】

本展は、スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館の企画制作協力のもと、スタジオジブリの代表作品『となりのトトロ』や『おもひでぽろぽろ』などで美術監督をつとめた背景画家・男鹿和雄の仕事を紹介する初の大規模個展である。男鹿の優れた仕事をまとめて取り上げ、背景画が示す高い技術と芸術性をわかりやすく紹介することで、広い層に日本のアニメーション美術の魅力を伝えることを目指した。1階ではスタジオジブリ参加以前に描かれた背景

画からスタジオジブリ作品の最新作まで背景画に、挿絵等を加えた計640点を3章に分けて展示(展示構成は増田春雄氏)。3階では、背景画の仕組みやアニメーションの撮影技法について、映像と背景画・セル画など実物をもとに紹介・解説するコーナーを設けた。また、親子で楽しむためのゾーンとして、背景画をテーマにしたフォトセッションのコーナーやミニシアター、折り紙を制作するコーナーなども設けた。

【関連事業】

- (1) 男鹿和雄展 「こどもの日」
7月28日(土)
吉永小百合さん 原爆詩朗読会／「はだしのゲン」上映会／安田和也さん(都立第五福竜丸展示館)による『戦争と原水爆』レクチャー／東京ジュニアオーケストラソサエティによる演奏会 参加者 約200人
*「こどもの日」として、高校生以下は「男鹿和雄展」、常設展の観覧が無料
- (2) 「先生のための特別観覧」
8月7日(火)
都内の小・中・高校の教師を対象に展覧会を紹介する。ジブリ美術館学芸員、スタジオジブリの専門家による解説と自由観覧。
参加者 約180人
- (3) スタジオジブリ作品「となりのトトロ」上映会
8月25日(土)、26日(日) 各日3回上映 *協力: 読売新聞社
参加者 約900人
- (4) 学校団体鑑賞
9月19日(水)、21日(金)
都内の小学生に、ジブリ美術館が学芸員、スタジオジブリの専門家が、アニメーションの作り方を紹介する。
- (5) 「男鹿和雄さんワークショップ 背景画のひみつ」
9月22日(土)
男鹿和雄と田中直哉(スタジオジブリ美術部長)による、アニメーションの背景画についてのトークとワークショップ。参加者 約50人
- (6) 「はなちゃんず よし笛演奏会」
7月21日(土)、8月25日(土)、26日(日)、9月24日(月)、25日(火)
よし笛の演奏グループ「はなちゃんず」によるエンタランスでの演奏。
無料。参加者 約3000人

【関連記事】

- (1) 新聞
「ジブリの『背景画』じっくりと 男鹿和雄展」『読売新聞』2007年8月4日
「トトロみつけ!ジブリの絵職人男鹿和雄展」『しんぶん赤旗』2007年8月16日
C.B.Liddell, "Anime with spirit The Artist who shapes Ghibli's universe", *Herald Tribune*, August 24, 2007.
呉麗麗「日本動画面劇龍猫画展 逾15万人観賞」『大紀元』2007年9月19日
- (2) 雑誌
菊池嘉晃「男鹿和雄氏インタビュー」『読売ウィークリー』2007年7月27日
「男鹿和雄インタビュー」『美術手帖』12月号 2007年11月17日

出品リスト

(本リストは、映画・テレビ作品、また書籍等のタイトルごとに展示物を分類し、その種別の点数を示したものである。)

「侍ジャイアンツ」 背景画 1点 背景画およびセル画 1点	「となりのトトロ」 背景画 24点 背景画およびセル画 9点 美術ボード 67点 背景美術用のメモとスケッチ 1点 美術設定 10点	「ハウルの動く城」 背景画 16点
「はじめ人間ギャートルズ」 背景画 3点		「ゲド戦記」 背景画 10点
「ガンバの冒険」 背景画 1点	「魔女の宅急便」 背景画 1点 背景画およびセル画 5点	「空想の空飛ぶ機械達」 背景画 1点 背景画およびセル画 1点
「宝島」 背景画 1点	「おもひでぼろぼろ」 背景画 22点 背景画およびセル画 1点 美術ボード 46点 美術設定 13点	『ねずてん』 原画 9点
「あしたのジョー2」 背景画 3点		『種山ヶ原の夜』 原画等 7点
「ユニコ」 美術設定 3点	「紅の豚」 背景画 5点 背景画およびセル画 1点	『第二楽章』 原画 9点
「幻魔大戦」 背景画 4点 背景画およびセル画 4点 宣伝ポスター用イラスト 1点 『月刊バラエティ』掲載イラスト 1点	「平成狸合戦ぽんぽこ」 背景画 17点 背景画およびセル画 2点 美術ボード 43点 美術設定 15点 スケッチ 1点	『第二楽章 長崎から』 原画 5点
「はだしのゲン」 背景画 3点 美術ボード 7点 美術設定 7点 背景原図 1点	「耳をすませば」 背景画 11点 背景画およびセル画 1点	『第二楽章 沖縄から「ウミガメと少年」』 原画 6点
「カムイの剣」 背景画 9点	「もののけ姫」 背景画 33点 背景画およびセル画 4点 美術ボード 26点 美術設定(背景原図も兼ねる) 5点	『ちゃぐりん』 原画 8点
「時空(とき)の旅人」 美術ボード 11点 美術設定 42点		中小企業向け業界誌、単行本原画 12点
「妖獣都市」 背景画 7点 美術ボード 6点	「千と千尋の神隠し」 背景画 28点	『映画興行師』 原画 7点
「夏服の少女たち〜ヒロシマ・昭和20年8月6日」 背景画 4点	「猫の恩返し」 背景画 8点	『LETTERS—赤鬼からの便り』 原画 3点 画集原画 2点 スケッチ 15点
		技法解説資料 背景画およびセル画等 8点

3 磯辺行久 Landscape—Yukihisa Isobe, Artist-Ecological Planner

会期	2007年7月28日(土)～9月30日(日)
会場	企画展示室地下2階、サンクン・ガーデン
開催日数	延べ59日間
観覧料	一般1,000円、大学生800円、中高生・65歳以上500円
入場者数	11,678人
一日平均	198人
出品点数	372点
カタログ	B5変型、254頁。出品作品の図版のほか、中原佑介氏、ジャッド・ヤルカット氏、ハーヴィー・シャピロ氏、芹沢高志氏、北川フラム氏、磯辺行久氏、担当学芸員によるエッセイ、年譜、文献目録を掲載。
ポスター	B2、B3
チラシ	A4

【開催趣旨】

1950年代の抽象と60年代のポップアートを繋ぐ美術家として活躍後、米国で新たに環境計画を学び、70年代以降この分野のパイオニアとして活動してきた磯辺行久(1935年-)は、近年、大河流域の自然環境の変化と地域社会の関係を主題とする壮大なスケールの作品の制作を再開している。本展は、その半世紀に亘る活動を初めて包括的に辿り、現代社会における美術、そして表現の意味を相対化する試みであった。特に、美術から環境計画へ

関心をシフトさせた60年代後半から70年代初頭の米国での活動と、アートセンターに滞在し作品制作を再開した90年代のフランスでの活動を調査し、転換期の展開過程を明らかにした。近年の仕事は、環境的な資源を多様なひとびとと共有するための試みであり、本展の会期中、木場公園やサンクン・ガーデン、そしてアトリウムで様々なプログラムを実施した。

【関連事業】

- (1) 木場公園プロジェクト 8月11日(土) 参加者700人
木場公園とサンクン・ガーデンにおいて、鬼太鼓座と葵太鼓が熱気球上と地上で演奏
- (2) 鼎談「協働の可能性」 7月28日(土) 参加者60人
磯辺行久、北川フラム、BOAT PEOPLE Association
- (3) 作家によるレクチャー「新作サンクン・ガーデン・プロジェクト」
9月1日(土) 参加者50人
- (4) 作家によるギャラリー・トーク 8月4日(土) 参加者50人
- (5) 学芸員によるギャラリー・トーク
8月19日(日)、9月9日(日)、16日(日) 参加者各日40人
- (6) 教育普及係との連携プログラム
 - ①小学生のためのギャラリー・クルーズ
8月25日(土)、26日(日) 小学1-4年生 参加者各日40人
 - ②先生のためのレクチャー
8月28日(火) 小・中・高の先生 参加者20人
- (7) 「Club MOT」会員のためのギャラリー・トーク
9月21日(金) 参加者20人

【主要関連記事(展覧会評)】

- (1) 新聞

三田晴夫「美術と社会繋いだ軌跡」『毎日新聞』2007年8月14日夕刊 p.4
黒沢綾子「環境とアート融合」『産経新聞』2007年8月22日朝刊 p.19
田中三蔵「帰還した越境者は開拓者となった」『朝日新聞』2007年9月12日夕刊 p.9
宝玉正彦「専門分野を超えた思考の軌跡」『日本経済新聞』2007年9月12日朝刊 p.44
高野清見「封印したアート呼び起こす」『読売新聞』2007年9月15日夕刊 p.11
「美連協座談会」『読売新聞』2008年4月30日朝刊 p.22
- (2) 雑誌

松井みどり「可変的な世界のしなやかな皮膜」『美術手帖』2007年12月号 pp.194-195
Midori Matsui, “Yukihisa Isobe, Reviews”, *ARTFORUM*, December 2007, p. 372
Midori Matsui, “Retrospectives, Looking Back”, *FRIEZE*, January-February 2008, p. 127

出品リスト

画家・版画家として	1-2	1-4
1-1 風景 1951 46×53cm 油彩/カンヴァス 作家蔵	【無題】 1955 27.5×101cm 油彩/板 磯辺行久美術館	【無題】 1957 92×117cm 油彩、鉛筆/カンヴァス 作家蔵
	1-3 【無題】 1958 51.5×51.5cm 油彩/板 作家蔵	1-5 【無題】 c.1957 91.5×122cm 油彩/板 財団法人 大川美術館

1-6 [無題] c.1957 120.5×145.7cm 油彩/カンヴァス 板橋区立美術館	2-8 [無題] c.1956-57 33×46cm リトグラフ/紙 作家蔵	2-20 バンドラの箱 1959 27.8×50.4cm リトグラフ/紙 町田市立国際版画美術館
1-7 [無題] c.1957 92.6×132.7cm 油彩/カンヴァス 作家蔵	2-9 まつり 1957 45.5×60.5cm リトグラフ/紙 国立国際美術館	2-21 [無題] 1960 55.7×43.6cm リトグラフ/紙 国立国際美術館
1-8 [無題] 1957 61×72.5cm 油彩/カンヴァス 宇都宮美術館	2-10 水晶の幻想 1957 31.5×47.7cm リトグラフ/紙 国立国際美術館	2-22 [無題] 1960 57.5×44.5cm リトグラフ/紙 国立国際美術館
1-9 作品 1958 169.5×106.5cm 油彩/カンヴァス 株式会社ヤマゲン	2-11 [無題] 1957 27.5×39.7cm グアッシュ/紙 町田市立国際版画美術館	2-23 飛び散るもの 1959 41.8×55.5cm リトグラフ/紙 町田市立国際版画美術館
1-10 [無題] c.1957-59 93.6×119.1cm 油彩/カンヴァス 作家蔵	2-12 作品 c.1959 49×50.5cm リトグラフ/紙 国立国際美術館	2-24 誕生を囲む群れ 1959 32.7×59.2cm リトグラフ/紙 町田市立国際版画美術館
2-1 [無題] 1955 9×13.8cm エッチング/紙 国立国際美術館	2-13 誕生を囲む群衆 1959 43.5×58cm リトグラフ/紙 国立国際美術館	2-25 風の中に 1959 27×41.5cm リトグラフ/紙 町田市立国際版画美術館
2-2 [無題] 1955 9×13.6cm エッチング/紙 国立国際美術館	2-14 古代 1959 29.5×42cm リトグラフ/紙 国立国際美術館	2-26 ANCIENT ILLUSION 1959 59×45.5cm リトグラフ/紙 国立国際美術館
2-3 膚 1955 28×41.8cm リトグラフ/紙 町田市立国際版画美術館	2-15 古代 1959 41×26cm リトグラフ/紙 国立国際美術館	2-27 虹を越えて 1959 40×45.3cm リトグラフ/紙 町田市立国際版画美術館
2-4 シグナル 1955 29.3×43cm リトグラフ/紙 国立国際美術館	2-16 城 1959 30.4×30.4cm リトグラフ/紙 国立国際美術館	2-28 二つの円 1959 37×57.5cm リトグラフ/紙 町田市立国際版画美術館
2-5 パイロットの夢 1956 58.8×42.7cm リトグラフ/紙 町田市立国際版画美術館	2-17 集合 1958 45×61cm リトグラフ/紙 国立国際美術館	2-29 うごめく 1959 42.8×58.2cm リトグラフ/紙 町田市立国際版画美術館
2-6 膚 1957 33.3×47cm リトグラフ/紙 国立国際美術館	2-18 雲と人 1958 31.8×39.4cm リトグラフ/紙 町田市立国際版画美術館	2-30 [無題] 1959 27.8×43.1cm リトグラフ/紙 国立国際美術館
2-7 貌 1955 46.2×31cm リトグラフ/紙 国立国際美術館	2-19 小さな絵 1959 45×60cm リトグラフ/紙 国立国際美術館	2-31 作品 1959 32×58cm リトグラフ/紙 町田市立国際版画美術館

2-32
群れ
1959
42.5×57.3cm
リトグラフ／紙
町田市立国際版画美術館

2-33
作品
1959
41×56.5cm
リトグラフ／紙
町田市立国際版画美術館

2-34
作品
1959
43.7×50.5cm
リトグラフ／紙
町田市立国際版画美術館

2-35
作品 '60-30
1960
59.7×44.4cm
リトグラフ／紙
町田市立国際版画美術館

2-36
【無題】
1960
58.5×44.5cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-37
【無題】
1960
58×43cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-38
【無題】
1960
55×42.5cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-39
【無題】
1960
42×54cm
リトグラフ／紙
町田市立国際版画美術館

2-40
【無題】
1960
42×58cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-41
【無題】
1960
41.7×51.8cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-42
【無題】
1960
43.7×61cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-43
【無題】
1960
55.6×39.5cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-44
【無題】
1960
38.5×56.3cm
リトグラフ／紙
町田市立国際版画美術館

2-45
【無題】
1960
42×57.2cm
リトグラフ／紙
町田市立国際版画美術館

2-46
【無題】
1960
60.8×43.8cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-47
【無題】
1960
56.6×39.2cm
リトグラフ／紙
町田市立国際版画美術館

2-48
【無題】
1960
56.5×41.5cm
リトグラフ／紙
町田市立国際版画美術館

2-49
【無題】
1960
28×43cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-50
【無題】
1960
12×42.5cm
リトグラフ／紙
町田市立国際版画美術館

2-51
【無題】
1961
45×60cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-52
【無題】
1961
60×45.5cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-53
【無題】
1961
44×60cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-54
【無題】
1961
45.5×60cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-55
【無題】
1961
43.5×56cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-56
【無題】
1961
44×57.5cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-57
【無題】
1961
43.5×57cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-58
【無題】
1961
54.5×43.5cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-59
【無題】
1961
43×55cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-60
【無題】
1961
42.5×58cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-61
【無題】
1961
43×57cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-62
【無題】
1961
45×59cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-63
古代VII
c.1959
14×9cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-64
フィギュールIV
c.1959
9×14cm
リトグラフ／紙
国立国際美術館

2-65
フィギュールIII
c.1959
9×14cm
リトグラフ、手彩色／紙
町田市立国際版画美術館

2-66
虫
c.1959
9×14cm
リトグラフ、手彩色／紙
町田市立国際版画美術館

2-67
動物
c.1959
9×14cm
リトグラフ、手彩色／紙
町田市立国際版画美術館

2-68 太陽 c.1960 9×14cm リトグラフ、手彩色／紙 町田市立国際版画美術館	2-80 [無題] c.1960 9×14cm リトグラフ／紙 国立国際美術館	3-2 作品 '60-8 1960 156.7×308.3cm ミクスト・メディア／板 作家蔵
2-69 雲 c.1959 9×14cm リトグラフ、手彩色／紙 町田市立国際版画美術館	2-81 [無題] 1958 32×47.5cm 水彩／紙 作家蔵	3-3 作品 '60-17 c.1960 132.8×93cm ミクスト・メディア／板 作家蔵
2-70 寒冷前線 c.1959 9×14cm リトグラフ／紙 国立国際美術館	2-82 [無題] c.1958 26.3×55.1cm 水彩／紙 作家蔵	3-4 作品 '60-18 c.1960 128.5×92.5cm ミクスト・メディア／板 作家蔵
2-71 [無題] c.1959 9×14cm リトグラフ／紙 町田市立国際版画美術館	2-83 [無題] c.1958 27.7×50.7cm 水彩／紙 作家蔵	3-5 作品 '60-20 1960 133.7×92.3cm ミクスト・メディア／板 栃木県立美術館
2-72 [無題] c.1959 14×9cm リトグラフ／紙 国立国際美術館	2-84 Eclips of Sun 1958 27.5×39.5cm 水彩、鉛筆／紙 作家蔵	3-6 [無題] c.1960 124×91.7cm ミクスト・メディア／板 栃木県立美術館
2-73 魚 c.1959 9×14cm リトグラフ／紙 国立国際美術館	2-85 [無題] 1958 38.2×54.5cm 水彩、鉛筆／紙 作家蔵	3-7 [無題] c.1960-61 122×121.2cm ミクスト・メディア／板 作家蔵
2-74 サーカス 1959 9×14cm リトグラフ／紙 町田市立国際版画美術館	2-86 [無題] 1958 27.5×39.5cm 水彩、鉛筆／紙 作家蔵	3-8 [無題] c.1960-61 121.3×137.5cm ミクスト・メディア／板 栃木県立美術館
2-75 人 c.1960 9×14cm リトグラフ、手彩色／紙 町田市立国際版画美術館	2-87 [無題] c.1958 26.7×38cm 水彩、ペン／紙 作家蔵	3-9 [無題] c.1960-61 126.2×160.2cm ミクスト・メディア／板 作家蔵
2-76 人 c.1959 9×14cm リトグラフ、手彩色／紙 町田市立国際版画美術館	2-88 [無題] c.1958 23.5×32cm 水彩／紙 作家蔵	3-10 [無題] c.1961 122.3×92cm ミクスト・メディア／板 栃木県立美術館
2-77 文字C c.1959 9×14cm リトグラフ、手彩色／紙 町田市立国際版画美術館	2-89 [無題] c.1962-65 47.5×36.3cm バステル／紙 和歌山県立近代美術館	3-11 モニュメント0 1961 182×140cm ミクスト・メディア／板 和歌山県立近代美術館
2-78 [無題] c.1959 9×14cm リトグラフ／紙 国立国際美術館	2-90 [無題] 1959 27.7×20.2cm 水彩／紙 町田市立国際版画美術館	3-12 モニュメント3 1961 184×160.7cm ミクスト・メディア／板 作家蔵
2-79 [無題] c.1960 9×14cm リトグラフ／紙 国立国際美術館	3-1 作品 '60-7 1960 145×224.5cm ミクスト・メディア／板 磯辺行久美術館	3-13 モニュメント5 1961 125.2×92cm 5 ミクスト・メディア／板 宇都宮美術館

3-14 モニュメント c.1961 129.2×162cm ミクスト・メディア／板 作家蔵	4-11 WORK '62-43 1962 182×136.5cm ミクスト・メディア／布、板 高松市美術館	4-23 WORK '63-80 (東京オリンピック賛歌) 1963-64 247×247cm ミクスト・メディア／板 作家蔵
3-15 [無題] c.1961 128×91cm ミクスト・メディア／板 作家蔵	4-12 WORK '62-56 1962 181.5×136.5cm 6.5 ミクスト・メディア／板 宇都宮美術館	4-24 WORK '63-81 (東京オリンピック賛歌) 1963-64 242.5×242.5cm ミクスト・メディア／板 財団法人 セゾン現代美術館
4-1 WORK '61 1961 129.4×95.3cm ミクスト・メディア／板 作家蔵	4-13 WORK '62 1962 170.5×116.2cm ミクスト・メディア／板 作家蔵	4-25 WORK '63-87 1963-64 243×182cm ミクスト・メディア／板 財団法人 駒形十吉記念美術館 (新潟県立近代美術館・万代島美術館に寄託)
4-2 WORK '61 1961 131×91cm ミクスト・メディア／板 磯辺行久美術館	4-14 WORK '62 1962 182×136.5cm ミクストメディア／布、板 株式会社ヤマゲン	4-26 WORK '65-8 1965 140.4×95.1cm ミクスト・メディア／板 作家蔵
4-3 WORK '61 1961 189.6×128.4cm ミクスト・メディア／板 作家蔵	4-15 WORK '62 1962 131×100cm ミクスト・メディア／布、板 国立国際美術館	4-27 WORK '65-10 1965 184×184cm ミクスト・メディア／板 作家蔵
4-4 WORK '61-1 1961 128.9×91.5cm ミクスト・メディア／板 青森県立美術館	4-16 [無題] c.1962-65 91×91cm ミクスト・メディア／板 作家蔵	4-28 WORK '65-35 1965 72.5×61cm ミクスト・メディア／板 作家蔵
4-5 WORK '61-2 1961 129×91cm ミクスト・メディア／板 青森県立美術館	4-17 [無題] c.1962-65 114.1×91.2cm ミクスト・メディア／板 作家蔵	4-29 WORK '65-37 1965 72.5×60.5cm ミクストメディア／板 作家蔵
4-6 WORK '61-3 1961 129×91cm ミクスト・メディア／板 青森県立美術館	4-18 [無題] c.1962-65 125.5×86cm ミクスト・メディア／板 作家蔵	4-30 WORK '63-86 1963-64 65×53cm ミクスト・メディア／板 作家蔵
4-7 WORK '61-23 1961 136.5×91cm 6.1 ミクスト・メディア／板 宇都宮美術館	4-19 [無題] c.1963 186.6×186.6cm ミクスト・メディア／板 作家蔵	5-1 WORK '62-50 1962 182×182×4.5cm ミクスト・メディア／板 作家蔵
4-8 WORK '62 1962 161.8×116.2cm ミクスト・メディア／板 作家蔵	4-20 WORK '63-10 1963 186.6×186.6cm ミクスト・メディア／板 作家蔵	5-2 WORK '62-53 1962 181.5×181.5×4.5cm ミクスト・メディア／板 栃木県立美術館
4-9 WORK '62-4 1962 126×91cm ミクスト・メディア／板 栃木県立美術館	4-21 WORK '63-25 1963 186.6×186.6cm ミクストメディア／板 作家蔵	5-3 WORK '62-54 1962 181.5×181.5×4.5cm ミクスト・メディア／板 宇都宮美術館
4-10 WORK '62-13 1962 182×127.5cm ミクスト・メディア／板 東京都現代美術館	4-22 WORK '63-46 1963 186.6×186.6cm ミクスト・メディア／板 作家蔵	5-4 WORK '62-58 1962 182×181.5cm ミクスト・メディア／板 作家蔵

5-5
a
全国共済農業協同組合連合会ビル壁画
1963
600×566×18cm
ミクスト・メディア／布、板
作家蔵

5-5
b
全国共済農業協同組合連合会ビル壁画
1963
各252.5×123.3×24cm
ミクスト・メディア／布、板 (6点組)
作家蔵

5-5
c
全国共済農業協同組合連合会ビル壁画ドローイング
1963
84.8×61.5cm
鉛筆／トレーシングペーパー
作家蔵

5-6
WORK '64-1&2
1964
182.6×363.2×6.5cm
ミクスト・メディア／板
目黒区美術館

5-7
WORK '64-5&6
1964
182×364×6.5cm
ミクスト・メディア／板
作家蔵

5-8
WORK '64-14&15 (舞楽)
1964
180×371×10cm
ミクスト・メディア／板
京都国立近代美術館

5-9
WORK '64-50 (風神・雷神)
1964
303×484×13.2cm
ミクスト・メディア／板
東京都現代美術館

5-10
WORK '64-51
1964
200×200×50cm
ミクスト・メディア／板、筆筒
高松市美術館

5-11
WORK '64-63~87
1964
272×212×6.5cm
ミクスト・メディア／板
財団法人駒形十吉記念美術館
(新潟県立近代美術館・万代島美術館に寄託)

5-12
WORK '65-50
1965
210×372×47.5cm
ミクスト・メディア／板、筆筒
千葉市美術館

6-1
WORK (舞楽障壁)
c.1964-65
213.5×620×7.2cm
レリーフ・プリント、コラージュ／紙
岐阜県美術館

6-2
WORK '62-25
1962
59.8×42.7cm
リトグラフ、レリーフ・プリント／紙
東京国立近代美術館

6-3
WORK '62-24
1962
59.8×43.2cm
レリーフ・プリント／紙
東京国立近代美術館

6-4
WORK '63-7
1963
74.1×54.5cm
レリーフ・プリント／紙
東京国立近代美術館

6-5
WORK '63-35
1963
110×75.6cm
レリーフ・プリント／紙
東京国立近代美術館

6-6
WORK '63-45
1963
190.2×96cm
レリーフ・プリント、コラージュ／紙
京都国立近代美術館

6-7
WORK
1964
186×93.5cm
レリーフ・プリント、コラージュ／紙
東京都現代美術館

6-8
カレンダー
1965
109.5×79cm
スクリーン・プリント／紙
作家蔵

6-9
[無題]
c.1962-65
108.8×76.8cm
水彩、色鉛筆、コラージュ／紙
作家蔵

6-10
[無題]
c.1962-65
107.8×77cm
色鉛筆、レリーフ・プリント／紙
作家蔵

6-11
[無題]
c.1965
109×77cm
水彩／紙
作家蔵

7-1
T氏邸のためのスタンド・グラスの下絵
c.1965
109×77cm
水彩／紙
作家蔵

7-2
a
横浜市立根岸プール・センター
1966
記録写真
作家蔵

7-2
b
横浜市立根岸プール・センターのためのプラン
c.1965
79×109.5cm
水彩／紙
作家蔵

II ニューヨーク、公園と島で

0-0
フラワー・ドーム
1968
71.3×54cm
スクリーン・プリント／紙
作家蔵

1 コンストラクション

1-1
コンストラクション・システム 図面
1967
43×53.5cm
鉛筆、トレーシングペーパー／紙
作家蔵

1-2
コンストラクション・システム(第9回日本国際美術展、東京都美術館)(協力:尾崎正教)
1967
記録写真
作家蔵

1-3
a
ストラクチャー・システム
1967
記録写真
作家蔵

1-3
b
ストラクチャー・システム
1967
記録写真
作家蔵

1-4
a-h
スカルプチャー・イン・ザ・ストリート(ニューヨーク建築連盟へのプロポーザル)
1967.7
24×17cm
コラージュ
作家蔵

1-5
[無題]
c.1967-69
記録写真
作家蔵

1-6
a-d
圧縮材としての円型ニューマティック・チューブ(構造ヒューストン・プロジェクトのプロポーザル)
1968
記録写真
作家蔵

1-7
a, b
ロータリー・プロジェクト(東京)
c.1967-69
記録写真
作家蔵

2 ハンギング・ストラクチャー、テント・ストラクチャー	3-6 二重膜空気構造 c.1968 記録写真 作家蔵	5 パラシュート(フローティング・スカラブチャー)
2-1 a, b ハンギング・ストラクチャー 1967 記録写真 作家蔵	3-7 二重膜空気構造 c.1968 記録写真 作家蔵	5-1 a-e パラシュート・カノピー・プロジェクト(オニオンタ、ニューヨーク州立大学) c.1969.4 記録写真 作家蔵
2-2 共用圧縮部材に依るテント群の構成(第1回メンブレイン・デザイン・コンペティション佳作受賞)(共同制作:磯辺啓三) 1967 記録写真 作家蔵	3-8 SPECIFICATIONS COORDINATE SYSTEM AND MEMBRANE FOR A SPHERICAL & CYLINDRICAL SHELL 1968 53.1×80.8cm スクリーン・プリント/紙 和歌山県立近代美術館	5-2 a-d パラシュート・カノピー・プロジェクト(ガリソン) c.1969.4 記録写真 作家蔵
2-3 a, b エクスペリメンタル・テント・ストラクチャー c.1967-69 記録写真 作家蔵	3-9 可変式プリーツ状シェル c.1969 記録写真 作家蔵	5-3 a, b パラシュート・カノピー・プロジェクト(ミラートン) c.1969.4 記録写真 作家蔵
2-4 a-c エクスペリメンタル・テント・ストラクチャー c.1967-69 記録写真 作家蔵	4 パラシュート(フローティング・シアター)	5-4 a, b パラシュート・カノピー・プロジェクト c.1969.6 記録写真 作家蔵
2-5 a, b エクスペリメンタル・テント・ストラクチャー c.1967-69 記録写真 作家蔵	4-1 a-d パラシュート・カノピーによるフローティング・フォーム 1968 記録写真 作家蔵	5-5 スプリング・フェスティバルのためのパラシュート・カノピー・プロジェクト(ブルックリン、プロスペクト・パーク) 1969 記録写真 作家蔵
3 空気構造	4-2 a-c フローティング・シアター 1969 記録写真 作家蔵	5-6 PARACHUTE CANOPY PROJECT PARA-COMMANDER CANOPY #440 1969 184×92 スクリーン・プリント/紙 株式会社ヤマゲン
3-1 チューブ状の空気構造(アトランティック・シティー遊歩道へのプロポーザル) 1969 記録写真 作家蔵	4-3 a, b フローティング・シアターにおけるジャド・ヤルカットのミクスト・メディア・パフォーマンス《ドリーム・リール》(オニオンタ、ニューヨーク州立大学) 1969.3.23 記録写真 作家蔵	5-7 PARACHUTE CANOPY PROJECT THE DELTA II DRAWING 1969 62.4×88 スクリーン・プリント/紙 高松市美術館
3-2 【無題】 c.1967-69 記録写真 作家蔵	4-3 c フローティング・シアターにおけるジャド・ヤルカットのミクスト・メディア・パフォーマンス《ドリーム・リール》のちらし 1969 ちらし 作家蔵	6 熱気球
3-3 Air Flow Structure[空気流構造](東京都美術館での展示を想定した模型) 1968 記録写真 作家蔵	4-4 a カッセンとスターンによる《シアター・オブ・ライト》のちらし 1969 ちらし 作家蔵	6-1 【無題】 1968 68×34.8 スクリーン・プリント/紙 和歌山県立近代美術館
3-4 a-d INFLATABLE DOUBLE STRUCTURE '68-1(二重膜空気構造) (『第8回現代日本美術展』東京都美術館彫塑室) 1968 記録写真 作家蔵	4-4 c-e カッセンとスターンによる《シアター・オブ・ライト》のための空気構造(ハートフォード、トリニティ・カレッジ) 1969 記録写真 作家蔵	6-2 【無題】 1968 70.3×23 スクリーン・プリント/紙 和歌山県立近代美術館
3-5 a DOUBLE SKIN STRUCTURE-1[二重膜空気構造] (『E. A.T. サム・モア・ビギニングズ展』ブルックリン美術館ロビー)、(共同制作:大江正典) 1968 記録写真 作家蔵	4-5 a-c フローティング・シアターにおける《ライフ・オン・ザ・ムーン》(ギンベル・デパート) 1969.8.2 記録写真 作家蔵	6-3 【無題】 1968 52×69.8 スクリーン・プリント/紙 作家蔵
3-5 b 二重膜空気構造 1968 記録写真 作家蔵		1 Moon Site (セントラル・パーク) 1969.7.20-21
		6-4 a-c セントラル・パークにおける月面着陸のイベント「Moon Site」 1969.7.20-21 記録写真 作家蔵

6-4
d
「Moon Site」ポスター(参考資料)
94×61
ポスター
作家蔵

6-4
e
セントラル・パークのポスター(参考資料)
114.6×76
ポスター
作家蔵

6-4
f
ジャッド・ヤルカットによる記録映像「Moon Site」
16 mmフィルム
ジャッド・ヤルカット蔵

2 フェニックス・ハウス サマー・ハブニング 1969(ハート島)
1969.9.7.

6-5
a-d
フェニックス・ハウス サマー・ハブニング 1969のための熱気球
(ハート島)
1969.9.7
記録写真
作家蔵

6-5
e
フェニックス・ハウス サマー・ハブニング 1969のための熱気球
の飛行のための音響を担当するデイヴィッド・バーマン
1969.9.7
記録写真
作家蔵

6-5
f
ジャッド・ヤルカットによる記録映像「フェニックス・ハウス サ
マー・ハブニングのための熱気球」
1969.9.7
記録写真
作家蔵

3 第7回ニューヨーク・アヴァンギャルド・フェスティバル(ワー
ズ島、ミルロック島) 1969.9.28-10.4.

6-6
a
第7回ニューヨーク・アヴァンギャルド・フェスティバル(ワー
ズ島、ミルロック島)の会場図面
1969.9.28-10.4
作家蔵

6-6
b-g
第7回ニューヨーク・アヴァンギャルド・フェスティバルで熱気
球で演奏するシャーロット・モーマンと同乗する磯辺
記録写真
作家蔵

6-7
EXPO '70 ベプシ館のライブ・プログラムのためのプロポーザ
ル、音響を伴う熱気球飛行
(デイヴィッド・バーマン、バルーン・エンタープライズとの共著)
1969
写真、タイプしたテキスト
作家蔵

7 エア・ドーム

1 第1回アース・デー(ニューヨーク、ユニオン・スクエア)
1970.4.22.

7-1
a-j
第1回アース・デー(ニューヨーク、ユニオン・スクエア)のための
エア・ドーム
1970
記録写真
作家蔵

7-1
k
「Earthday-April 22」ポスター
1970
ポスター
作家蔵

7-1
l
「everyday is earthday」ポスター
1970
108.8×66.6cm
スクリーン・プリント/紙
作家蔵

7-1
m
「what on earth is happening? 'earth week」ポスター
1970
66.7×108.7cm
スクリーン・プリント/紙
作家蔵

7-1
n
ユニオン・スクエアにおける第1回アース・デーのためのエア・ド
ームのプラン
1970
作家蔵

2 Enviromentals:Man・Art・Community(ハートフォード、トリ
ニティ・カレッジ、オースティン・アーツ・センター) 1970.4.16-
22

7-2
a
Enviromentals:Man・Art・Communityのためのちらし
1970
作家蔵

7-2
b, c
Enviromentals:Man・Art・Communityのためのエア・ドーム
記録写真
作家蔵

3 フェニックス・ハウス サマー・ハブニング1970(ハート島)
1970.8.30.

7-3
a
フェニックス・ハウス サマー・ハブニング1970の計画書
1970
作家蔵

7-3
b
フェニックス・ハウス サマー・ハブニング1970の計画書
1970
67×43cm
ペン/トレーシングペーパー、紙
作家蔵

7-3
c-x
フェニックス・ハウス サマー・ハブニング1970のためのエア
ドーム
作家蔵

7-3
y
The Village Voice, August 23, 1970
作家蔵

7-3
z
Reach Out (The Friends of Phoenix House)
Vol. 1 No. 3
作家蔵

4 フェニックス・ハウス サマー・ハブニング1971(ハート島)
1971.8.22.

7-4
a
フェニックス・ハウスの施設とフェニックス・ハウス サマー・ハ
ブニング1971のためのエア・ドーム
1971
記録写真
作家蔵

7-4
b
フェニックス・ハウス サマー・ハブニング1971のためのポスタ
ー
1971
63.5×96.5cm
ポスター
作家蔵

7-4
c
フェニックス・ハウス サマー・ハブニング1971のエア・ドーム
制作風景(ラガーディア空港にて)
1971
記録写真
作家蔵

7-4
d
ストラクチャー
1971
記録写真
作家蔵

7-4
e-q
フェニックス・ハウス サマー・ハブニング1971のための エ
ア・ドーム
記録写真
作家蔵

III 資源目録からパーソナル・ランドスケープへ

1-1
a-e
Feasibility Study for Development of the Therapeutic
Community(資源目録)
(ペンシルヴェニア大学ランドスケープ・アーキテクチャー、リジ
ョナル・プランニング学部に提出した修士論文に添付)
1972
サインペン/紙
作家蔵

2-1
a
Personal Landscape:
St. Vincent de Tyrosse, Peyrehorade
2000-01
88×68cm
ミクスト・メディア/フランス国土地理院1/25000地形図
作家蔵

2-1
b
Personal Landscape: La Cote St-André
2000-01
88×68cm
ミクスト・メディア/フランス国土地理院1/25000地形図
作家蔵

2-1
c
Personal Landscape: Peyrehorade
2000-01
88×68cm
ミクスト・メディア/フランス国土地理院1/25000地形図
作家蔵

2-1
d
Personal Landscape: Pithiviers
2000-01
88×68cm
ミクスト・メディア／フランス国土地理院1/25000地形図
作家蔵

2-1
e
Personal Landscape: St. Vincent de Tyrosse
2000-01
88×68cm
ミクスト・メディア／フランス国土地理院1/25000地形図
作家蔵

2-2
脆弱な地域 イル・ド・フランス
2000-01
422×434cm
ミクスト・メディア／フランス国土地理院1/25000地形図
作家蔵

3-1
Quarter Circular Field "Flora"
1996
280×280cm
ミクスト・メディア
作家蔵

3-2
不確かな風向ー箱
1997
300×630cm
ミクスト・メディア
作家蔵

3-3
Three Continents
1997
280×750cm
ミクスト・メディア
作家蔵

3-4
Wind Direction Undefined
1998
502×390cm
ミクスト・メディア
作家蔵

IV 協働、新たな表現に向けて

1 川はどこへいった(越後妻有アートトリエンナーレ2000)

1-1
《川はどこへいった》
2000
記録写真
作家蔵

1-2
a
《川はどこへいった》のためのドローイング
c.2000
36.4×51.5cm
色鉛筆／紙
作家蔵

1-2
b
《川はどこへいった》のためのドローイング
c.2000
36.5×52cm
色鉛筆／紙

1-2
c
《川はどこへいった》のためのコンピューター・グラフィックス
c.2000
コンピューター・グラフィックス
作家蔵

1-2
d
《川はどこへいった》のためのコンピューター・グラフィックス
c.2000
コンピューター・グラフィックス
作家蔵

1-2
e
《川はどこへいった》記録映像(撮影・編集:南雲昇)
2000
ビデオ
作家蔵

2 信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡(越後妻有アートトリエンナーレ2003)

2-1
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡》
2003
記録写真
作家蔵

2-2
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡》のためのドローイング
2001
29.7×42cm
鉛筆／ドローイングのコピー
作家蔵

2-3
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡》のためのドローイング
29.7×42cm
ペン、鉛筆／ドローイングのコピー
作家蔵

2-4
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡》のためのドローイング
29.7×42cm
コラージュ／ドローイングのコピー
作家蔵

2-5
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡》のためのドローイング
21×29.7cm
ペン／ドローイングのコピー
作家蔵

2-6
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡》のためのドローイング
21×29.7cm
ペン／ドローイングのコピー
作家蔵

2-7
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡》のためのドローイング
21×29.7cm
コラージュ／ドローイングのコピー
作家蔵

2-8
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡》のためのドローイング
21.8×33.5cm
ペン、鉛筆／紙
作家蔵

2-9
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡》のためのドローイング
25.1×41.2cm
ペン／ドローイングのコピー
作家蔵

2-10
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡》のためのドローイング
21×29.7cm
ペン／ドローイングのコピー
作家蔵

2-11
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡》のためのドローイング
21×29.7cm
ペン、鉛筆／紙
作家蔵

2-12
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡》のためのドローイング
21×29.7cm
ペン／ドローイングのコピー
作家蔵

2-13
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡》のためのドローイング
21×29.7cm
ペン／ドローイングのコピー
作家蔵

2-14
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡》のためのドローイング
35.8×51.8cm
ペン、鉛筆／紙
作家蔵

2-15
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡》のためのドローイング
29.7×42cm
ペン、鉛筆／紙
作家蔵

2-16
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡》のためのドローイング
29.7×42cm
色鉛筆／ドローイングのコピー
作家蔵

2-17
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡》のためのドローイング
29.7×42cm
鉛筆、色鉛筆／紙
作家蔵

2-18
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡》のためのドローイング
29.6×39.3cm
コラージュ／ドローイングのコピー
作家蔵

2-19
《信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていたー天空に浮かぶ信濃川の航跡(越後妻有アートトリエンナーレ2003)》記録映像(撮影・編集:南雲昇)
ビデオ
作家蔵

3 農舞楽回廊(越後妻有アートトリエンナーレ2006)

3-1
《農舞楽回廊》
記録写真
作家蔵

3-2
《川はどこへいった》(瀬替えによって流れを変えた川)(越後妻有アートトリエンナーレ2000のためのドローイング)
2000
29.7×42cm
鉛筆、色鉛筆／紙
作家蔵

3-3

《農舞楽回廊》のためのドローイング

2006

29.7×42cm

コラーージュ、ペン/トレーシングペーパー

作家蔵

3-4

《農舞楽回廊》のためのドローイング

2006

36.3×51.5cm

色鉛筆、ペン/紙

作家蔵

3-5

《農舞楽回廊(越後妻有アートトリエンナーレ2006)》記録映像
(撮影:渋谷満、編集:フルティガ)

2006-07

ビデオ

作家蔵

4 サンクン・ガーデン・プロジェクト 《東京ゼロメートル》

2007

4-1

サンクン・ガーデン・プロジェクト 《東京ゼロメートル》

2007

3000×1500cm

文字を印刷した透明シート、太陽光発電防災スピーカー/東京
都現代美術館西側ガラス壁、サンクン・ガーデン

作家蔵

4-2

サンクン・ガーデン・プロジェクト

《東京ゼロメートル》のためのドローイング

2007

39.7×54.6cm

色鉛筆、ペン/紙

作家蔵

5 エア・ドーム

5-1

エア・ドーム2007

2007

4500×8500×2000cm

2000

ビニール、送風機、寺垣式スピーカー

作家蔵

4 SPACE FOR YOUR FUTURE—アートとデザインの遺伝子を組み替える SPACE FOR YOUR FUTURE—Recombining the DNA of Art and Design

会期	2007年10月27日(土)～2008年1月20日(日)
会場	企画展示室1階、3階、地下2階、エントランス、図書室、水のプロムナードほか
開催日数	延べ67日間
観覧料	一般1,300円、学生1,100円、中高生・65歳以上600円
入場者数	56,064人
一日平均	837人
出品点数	42点
カタログ	『SPACE FOR YOUR FUTURE—アートとデザインの遺伝子を組み換える』(INAX出版刊) A5判 244ページ
ポスター	B1、B3
チラシ	A4(両面カラー、2種)
解説ガイド	A3(両面白黒)

【開催趣旨】

コンピューターや生命科学、哲学など異なった分野のタームを相互に組み替えて新しい思考方法が試みられている現在、アートと建築、デザインにおいても、それぞれの領域を横断する表現が様々な手法によって模索されている。本展はこうした領域横断的な表現をテーマに34組のアーティスト／クリエイターを紹介。すでに国際的に活躍しているフセイン・チャラヤン、SANAA、トビアス・レーベルガーらばかりではなく、石上順也をはじめとした日本の若い世代の意欲的な作品を発表。15の新作を含む、最近作の中

心とした構成は、日本発信のアート・アンド・デザインの展覧会として内外から高く評価された。

展覧会は4300m²の企画展示室全室を使用したほか、エントランス、図書室、屋外スペースなど美術館全体を使用。さらに美術館外の展示施設での特別展示も試みた。

若い世代に特に関心が高く、有料入館者のうち大学生・専門学校生が25%(10,352人)を占めたのも本展の特徴である。

【関連事業】

- (1) 特別展示 9月28日(金)～12月13日(木)
作家：嶺脇美貴子
会場：アッシュ・ペー・フランス ウィンドウギャラリー / 丸の内
- (2) 特別展示 9月28日(金)～11月7日(水)
作家：荒神明香
会場：アッシュ・ペー・フランス ウィンドウギャラリー / 新宿
- (3) アーティストによるギャラリー・トーク
①10月27日(土) 参加者160人
作家：マイケル・リン、avaf、ショーン・グラッドウェル、AMID
②11月17日(土) 参加者140人
作家：妹島和代(SANAA)
③12月15日(土) 参加者150人
作家：石上純也
- (4) エデュケーション・プログラム
11月2日(金)参加者 30人 先生のための特別レクチャー 小学校～高校の教員対象
- (5) 学校のためのプログラム(学校向けの鑑賞教室)
11月13日(火)～12月27日(木)の毎週火・木曜日 参加者1366人(27校) 小学校～高校対象。
- (6) 親子で楽しむギャラリー・クルーズ
12月2日(日)、12月9日(日) 参加者80人 小学校3～6年生とその保護者対象。
- (7) ガイドスタッフによるハイライトツアー
11月17日(土)以降、会期中の毎週土、日、および祝日 各日1時間 参加者数578人
- (8) MOTデザイン・バザール
11月23日(金・祝)・24日(土)・25日(日)

【主要関連記事】

- (1) 新聞
Cristoph Mark, "MOT explores outer space", *The Daily Yomiuri* November 2, 2007.
白木緑・郷原信之「ジャンル横断表現自在」『日本経済新聞』2007年11月10日
黒沢綾子「エリカ様 百変化」『産経新聞』2007年11月21日
前田恭二「ジャンル横断 閉塞感破る」『読売新聞』2007年12月6日
村島有紀「参加型アートで相乗効果」『産経新聞』2007年12月17日
三田晴夫「スペース・フォー・ユア・フューチャー展」『毎日新聞(夕刊)』2007年12月25日
大西若人「美術と建築『遺伝子組み換え』」『朝日新聞(夕刊)』2007年12月26日
- (2) 雑誌
長谷川祐子「企画者が語る『SPACE FOR YOUR FUTURE』」『ARTit』2007年10月号
「特集 クロスディシプリナリーな〈空間〉の創造にむかって」『美術手帖』2007年12月号
- (3) その他
「新日曜美術館」NHK 2007年12月9日(TV)
「ザ・プロフェッショナル」NHK 2007年12月18日(TV)

出品リスト

(凡例)・作品の和文データは、作家名/作品名/制作年/素材・技法/サイズ(縦×横×奥行)/所蔵者の順で記載した。
・作家名・作品名は50音順。

<p>AMID* アーキテックチャー(cero9) Cristina Díaz Moreno + Efrén García Grinda AmesMM マジックマウンテンほか4プロジェクト ミクストメディア First produced in MUSAC, Museum of Contemporary Art in Castilla Y León, Spain With special cooperation by Agustín Perez Rubio Powered by Hewlett-Packard Japan, Ltd.</p>	<p>MONGOOSE STUDIO fuwapica future 2007 バルーン、アクリル、レザー、エアプレッシャセンサ、電子回路、LED 4000×4000×4000mm</p>	<p>タナカノリュキ 100 ERIKAS 2007 タイプCプリント type C print 100枚(各1000×1000mm) コンストラクティッドフォトコラボレーター: 沢尻エリカ 協力:TAKAKI_KUMADA, Indigolight, 長瀬 哲朗、渡辺 康裕、三田 真一、Toshio Takeda、 ShinYa、ABE、小西 紳士、COCO、MICHIRU、ASAKO、 松井 祐一、江橋 仁、和田 聡、長沢 秋、 Oi-chan、MONDO、Rachel D'Amour、ENVY、 ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社、 株式会社 葵プロモーション</p>
<p>BLESS BLESS N°32 フルストフェルテルベル 2007 ビデオ、サッカーゴール、家具 機材協力:NECディスプレイソリューションズ株式会社</p>	<p>エリアソン、オラファー 四連のサンクッカー・ランプ 2006 ステンレス・スチール、色変換フィルター、電球、ケーブル 140×140×140cm 個人蔵 Courtesy: Gallery Koyanagi</p>	<p>チャラヤン、フセイン LEDドレス(光る水のドレス:エアボーン・コレクション/2007年 秋冬より) 2007 Hussein Chalayan In Collaboration With Swarovski</p>
<p>COSMIC WONDER magic village 2001 コットン、木、ロープ、FRP、プラスチック</p>	<p>カンパナ・ブラザーズ マルチダオ・チェア 2003 木綿製人形、ステンレス・スチール Photo: Edra, Italy</p>	<p>チャラヤン、フセイン LEDドレス(光る水のドレス:エアボーン・コレクション/2007年 秋冬より) 2007 Hussein Chalayan In Collaboration With Swarovski</p>
<p>nendo kazadokei 2007 アルミニウム、スチール 2650×400×1500mm シチズンTIC株式会社</p>	<p>グラッドウエル、ショーン ストーム・シークエンス 2000 ビデオ、4:3サイズ、ステレオ 8'40" Videography: Técha Noble Sound: Kazumichi Grime Commissioned by Peter Fay Courtesy: the artist & Sherman Galleries, Sydney</p>	<p>チャラヤン、フセイン レーザー・ドレス(リーディングス・コレクション/2008年春夏よ り) 2007 Hussein Chalayan In Collaboration With Swarovski</p>
<p>R&Sie(n)+D 「聞いた話」平坦で過剰な成長するアーバニズム 2007 FDM技術によるABS樹脂製モデル、ビデオ、プリント 750×600×600mm(モデル) 制作協力:丸紅情報システムズ株式会社、Stratasys, Inc.の FDM(熱溶解積層法)技術</p>	<p>グラッドウエル、ショーン タンガラ 2003 ビデオ、4:3サイズ、サイレント 14'00" Videography: Gotaro Uematsu Courtesy: the artist & Sherman Galleries, Sydney</p>	<p>ディマッジョ、エリザベッタ 無題 2007 メスでカットした薄葉紙 Courtesy of the artist</p>
<p>アシューム・ヴィヴィッド・アストロ・フォーカス (avaf) anatato vuivui attoteki fukusayo 2007 ミクストメディア 技術協力:日本ヒューレット・パカード株式会社 Courtesy: hiromi yoshii</p>	<p>グラッドウエル、ショーン 二つのフレームのラインワーク 2007 2チャンネル・ビデオ・インスタレーション、自転車、DV/DVD、 Sony PSP 16:9サイズ、ステレオ Courtesy: the artist & Sherman Galleries, Sydney</p>	<p>デマーカスファン レース・フェンス 2005 2850×3110×705 mm 協力:Kakitsubata</p>
<p>足立喜一郎 e.e.no.24 2004 電話ボックス、マジックミラー、ミラーボール、CDプレイヤー、 ヘッドフォン、ミクストメディア 2400×980×970mm</p>	<p>荒神明香 reflectwo 2006 造花、アクリル</p>	<p>デマーカスファン レース・フェンス 2006 2200×6000×720 mm 協力:Kakitsubata Courtesy: CIBONE</p>
<p>石上純也 四角いふうせん 2007 ミクストメディア 1400×730×1280cm 制作協力:株式会社 矢嶋、株式会社 ア・ファクトリー、 技術協力:株式会社 エイ・イー・エス 助成:アメリカン・センター・ファウンデーション Courtesy: Gallery Koyanagi</p>	<p>コンテニード・ネット design Alejandro Sarmiento & Miki Friedenbach プロジェクト:コンテニード・ネット 2002 ペット・ボトル、ペット・ボトルを素材とするバッグほか、ビデオ Courtesy: juan pablo cecchi, gabriela iskin, lucas g. martinez, sebastian melguizo, adrian moreno, gustavo polasek, luis maria inparaguire, mariano wainstein, hernan braver ezequiel kobrinsky diego arena pablo sirally hernan steinberg, ines castro, juan ignacio abello, alejandro venturotti, martina curia, sebastian garillo, mariano wainstein</p>	<p>デマーカスファン シンデレラ・テーブル 2005 バーチ材 810×1000×1320mm 協力:Kakitsubata Courtesy: Kakitsubata</p>
<p>石上純也 リトル ガーデン 2007 ミクストメディア φ120 cm 制作協力:プロダクトデザイン正城、鈴木雄子 Courtesy: Gallery Koyanagi</p>	<p>妹島和世+西沢立衛/SANAA フラワーハウス 2007 ミクストメディア 協賛:hhstyle.com、株式会社竹中工務店、株式会社デバイス、 株式会社INAX、三協立山アルミ株式会社 協力:照明/大光電機株式会社、椅子/nextmaruni 制作協力:カスティール・リャ・レオン州現代美術館(レオン、スペイ ン)</p>	<p>トゥットフォオーコ、パトリック 共同制作:マッティア・マッテウッチ 長距離走者 2006 3面MDFスクリーン、ビデオ 各スクリーン約30分 機材協力:NECディスプレイソリューションズ株式会社</p>
<p>ウィーラセタクン、アビチャップン エマラルド 2007 ビデオ、ドルビー5.1 10'50" 撮影協力:ジェンジラ・ボンバット、サックダー・ガウブアディー、 ニティボン・ティンタップタイ 協力:ジム・トンブソン財団(タイ)、タイ王国文化省 現代芸術文 化委員会 機材協力:NECディスプレイソリューションズ株式会社</p>	<p>ダイキン エア・デザイン・プロジェクト air relation 2007 空気、ガラス、ステンレス・スチール エア・キューブ: 2200×2500×2500mm、呼吸する壁: 2700× 150×6000mm Air cube: 2200×2500×2500mm, Respirational wall: 2700 ×150×6000mm 制作:ダイキン工業株式会社 アート・ディレクション: CEMENT PRODUCE DESIGN CO., LTD</p>	<p>トデリ、グラッツィア ロツソ・バベル(バベル・レッド) 2006 ビデオ 機材協力:NECディスプレイソリューションズ株式会社</p>
<p>植原亮輔と渡邊良重 時間の標本 2007 本、水彩絵具 サイズ可変</p>	<p>協賛:hhstyle.com、株式会社竹中工務店、株式会社デバイス、 株式会社INAX、三協立山アルミ株式会社 協力:照明/大光電機株式会社、椅子/nextmaruni 制作協力:カスティール・リャ・レオン州現代美術館(レオン、スペイ ン)</p>	<p>トレヴィザーニ、ルカ プラチナ・イリジウム 2007 ビデオ Courtesy: the artist, Galleria Giò Marconi, Milano and Galerie Mehdi Chouakri, Berlin</p>
	<p>ニコライ、カーステン フェーズ 2006 遮光室でのインスタレーション、ビデオプロジェクト、ミス ト・スプレー、サウンド Courtesy: Gallery Eigen+Art, Leipzig/Berlin; PaceWildenstien New York. ©VG Bildkunst</p>	

蛭川実花
my room
2007
写真
3000×5400×3600mm
協力:小山登美夫ギャラリー
技術協力:日本ビューレット・パッカード株式会社

東泉一郎
MIRAI
1998(オリジナルグラフィック)/2003-2007(モーショングラフィック)
Post Script, ムービー
機材協力:NECディスプレイソリューションズ株式会社

フィッセル, バーバラ
俳優と詐欺師
2003
ビデオインスタレーション
13'45"
機材協力:NECディスプレイソリューションズ株式会社
Courtesy: Annet Gelink Gallery

フィッセル, バーバラ
(共同制作:オリヴィエ・カンバーニュ)
変容の家II
2006
アニメーション
機材協力:NECディスプレイソリューションズ株式会社
Courtesy: Anneet Gelink Gallery, 27th Bienal de São Paulo

ネト, エルネスト
フィットヒューマノイド
2007
スープレックス(91% ポリアミド、9% エラストマー)、ライクラ
(84.9% ポリアミド、15.1% エラストマー)、スキン、ポリエステレン球、オレガノ(男)、ラベンダー(女)
2.08×0.9×0.9 m
Courtesy: Tomio Koyama Gallery and Gallery Koyanagi

前田征紀
Light Lodge
2007
ミクストメディア

嶺脇美貴子
hand's and machine's
2007
端切れ
ウィッグ、クッション、ドレッサー、ミラー、ラグほか
素材提供:ホアナ・テ・アルコ
Material support: Juana de Arco

嶺脇美貴子
mineorities
1998-2007
デュボン™コーリアン、カプセル、お椀、プラスチックのピストル、リコーダー、ライター他
ネックピース、ネックレス、プレスレット、リング、ブローチ、ハングル

リン, マイケル
無題
2007
キャンバスにアクリル、鉛筆
Courtesy: shu uemura and Eslite Gallery, Taipei

レーベルガー, トビアス
母型81%
2007
アクリル板、木、合金、ペイント、マーカー、ダクトテープ、マジックテープ
268×557×790cm
Courtesy: Museum of Contemporary Art Tokyo

5 川俣正 [通路] Tadashi Kawamata [Walkway]

会期	2008年2月9日(土)～4月13日(日)
会場	企画展示室1階、地下2階、サンクン・ガーデンほか
開催日数	56日間
観覧料	1回券:一般1,000円 大学生800円 中高生・65歳以上500円 共通パスポート:一般2,000円、大学生1,600円、中高生・65歳以上1,200円 セット券:一般1,500円、大学生 1,200円、高校生・65歳以上 750円、中学生650円
入場者数	20,088人
一日平均	358人
出品点数	47点(過去のプロジェクト写真/ドローイングと模型)
カタログ	A4変形 200頁、ドキュメント編 48頁 付録DVD
ポスター	B1、B3
チラシ	A4
会場マップ	A4

【開催趣旨】

川俣正の約30年間の仕事を「通路」というキーワードのもとで概観し、展示空間を対象としたプロジェクト[通路]を実施した。仮設パネルを、ボランティア(延べ800人程)の人たちと公共空間や展示室に設置し、美術館を「通路」に変えてしまう展示をおこなった。観客は「通路」を行き来しながら、そこでおこなわれた活動

と遭遇することや参加すること、あるいは展示写真、模型や資料をながめることで美術館の有り様を変化させた。

また、会期中は運営ボランティアが毎日会場内で、「ラボ」と呼ばれるワークショップや作品製作などの活動をおこなった。

【関連事業】

- (1)[通路]カフェ・トーク 川俣正との対談
2月 9日(土) ジル・クダール(映像作家) 参加者 約80人
2月10日(日) 村田真(美術ジャーナリスト) 参加者 約80人
2月11日(月) 坂口恭平 参加者 約80人
2月16日(土) 吉岡宏高(まちづくりコーディネーター) 参加者 約100人
2月19日(火) 西條朋行(精神科医) 参加者 約80人
2月23日(土) 住友文彦(当館学芸員) 参加者 120人
2月24日(日) 高嶺格(アーティスト) 参加者 150人
4月 4日(金) いちむらみさこ×小川てつお(カフェエノアル) 参加者120人
- (2)[通路]講座
①2月15日(金) 「共生的通路論ーベンヤミンをめぐるセミナー」
小林康夫(東京大学教授 表象文化論)、竹峰義和(武蔵大学ほか非常勤講師)、森田團(東京大学21世紀グローバルCOE特任研究員) 参加者 約40人
②2月26日(火) 「アート・アクティビティとアーカイブ」
桂英史(東京芸術大学准教授 コミュニケーション論) 参加者 約40人
③2月29日(金) 「アートレスへの道ードイツを巡って 戦前編」、3月7日(金)「アートレスへの道ードイツを巡って 戦後編」長田謙一(首都大学東京教授 芸術学/デザイン史) 参加者 約20人
④3月16日(日) 「自画像を描くための顔の解剖学について」
布施英利(東京芸術大学准教授 美術解剖学) 参加者 約30人
⑤3月28日(金) 「芸術編集の未来:アートレスからアンビエント・プラクティスへ」
津田広志(編集者) 参加者 約30人
⑥4月5日(土) 「都市の通路、群島の通路」
今福龍太(東京外語大学教授、文化人類学) 参加者 約100人

【主要関連記事】

- (1)新聞
白木緑「美術館を開く『生きた展示』」『日経新聞』2008年2月23日
Donald Eubank “Tadashi Kawamata: Human reeds swaying in a museum maze”, *The Japan Times*, February 28, 2008.
佐藤孝雄「動線こそ展覧会」『北海道新聞』2008年3月7日
大西若人「純粋な『通路』主役」『朝日新聞』2008年3月27日
- (2)雑誌
「特集 川俣正」『建築ノート』2008年1月1日発行号 pp.48-53
坂口千秋「『川俣正 [通路]』 ナチュラル・ボーン・アーティスト?」『スタジオ・ボイス』2008年2月6日発行第387号 p.115
「特集 美術館に現れた、川俣正の[通路]」『ハイファッション』2008年2月28日発行号 第320号 pp.90-93
「特集 そしてみんながKAWAMATAになる」『+ING』2008年3月1日号 pp.22-27
鷹見明彦「アートレスと美学の庭」『美術手帖』2008年3月号第906号 pp.226-227

⑦4月13日(日) 「コンセプトブックのコンセプト」

川俣正、岩瀬聡(デザイナー)、矢崎博昭(デザイナー)、鏑木あずさ(当館司書)、水谷香恵(当館司書)、則武優(美術出版社)、住友友彦(当館学芸員) 参加者 約130人

(3)[通路]ワークショップ

①2月23日(土)、3月15日(土)「メルツ(パウ)Merzbou—アートプロセス・ワーク」

ファシリテーター：津田広志 参加者 約30人

出品リスト(制作年順)

フィールドスケッチ、東京 Field Sketch, Tokyo 1976-78 東京 写真(47パネル組み) 1パネル30×60cm	タワークレーン・プロジェクト、パリ(プランのみ) Tower Crane Project, Paris, Unrealized work 1990- パリ 地図 1点 74.5×119cm	フラウエン・バット、チューリッヒ Frauen bad, Zurich 1993 リマット川及びヘルムハウス美術館、チューリッヒ 模型 1点 220×340cm
デストロイド・チャーチ Destroyed Church, Kassel カッセル 1987 ドイツ 写真 5点 57×79cm	タワークレーン・プロジェクト、パリ(プランのみ) Tower Crane Project, Paris, Unrealized work 1990- パリ ドローイング 4点 80×180cm	フラウエン・バット、チューリッヒ Frauen bad, Zurich 1993 リマット川及びヘルムハウス美術館、チューリッヒ 写真 6点 61×87cm
ベギンホフ・セント・エリザベス、コトリック Begijnhof St. Elizabeth, Kortrijk 1989 ベルギー 床置き模型245×366cm	トロント・プロジェクト、コロニアル・タヴァン・パー Colonial Tavern Park, Tront Plan 1991(1989) トロント 模型 1点 158×305cm 東京都現代美術館蔵	フラウエン・バット、チューリッヒ Frauen bad, Zurich 1993 リマット川及びヘルムハウス美術館、チューリッヒ ドローイング 5点 61×87cm
ファベラ・イン・バッテリーパーク、ニューヨーク Favela in Battery Park, New York 1989 ニューヨーク 写真 4点 62×87cm	プロジェクト・オン・ルーズベルト・アイランド Project on Roosevelt Island, New York, 1992 スモールボックス病院跡ノルーズベルト島、ニューヨーク 写真 7点 84.5×67cm	宮ノ前アーケード・プロジェクト Miyanomae-Arcade Project 1994 伊丹市 ドローイング 6点 62×87cm 伊丹市立美術館蔵
サイドウォーク、ウェクスナー視覚芸術センター、コロンバス、オハイオ Side walk, Ohio 1990 ダブリン 写真 5枚 57×79cm	フィールドワーク・東京 Filed work, Tokyo 東京都内 1993 写真 3点 57×80cm	宮ノ前アーケード・プロジェクト Miyanomae-Arcade Project 1994 伊丹市 模型 1点 約1200×300cm
サイドウォーク、ウェクスナー視覚芸術センター、コロンバス、オハイオ Side Walk, Ohio 1990 オハイオ ドローイング 3点 64×85cm	サイドウォーク、リヨン Side walk, Lyon 1993 リヨン ドローイング 4点 61×87cm	トランスフェール、Transfert, CCC,トゥール及びアトリエカルダー、サジェ 1994 模型 1点 62×443cm
フィールドワーク・フォートワース Filed work, Fortworse 1990 フォートワース 写真 2枚 57×80cm	サイドウォーク、リヨン Side Walk, Lyon 1993 リヨン 写真 2点 61×87cm	トランスフェール、Transfert, CCC,トゥール及びアトリエカルダー、サジェ 1994 写真 6点 62×87cm
フィールドワーク・シカゴ Filed work, Chicago 1990 シカゴ 写真 1枚 57×80cm	パッサジオ、プラト Passagio, Prato 1993 プラト—市内 ドローイング 3点 62×87cm	トランスフェール、Transfert, CCC,トゥール及びアトリエカルダー、サジェ 1994 ドローイング 6点 62×87cm
タワークレーン・プロジェクト、パリ(プランのみ) Tower Crane Project, Paris, Unrealized work 1990- パリ 模型 1点 190×598cm	パッサジオ、プラト Passagio, Prato 1993 プラト—市内 写真 6点 52×73cm	トラム・パッセージ、Tram Passage, Wien 1995 ウィーン、ドローイング 6点 62×87cm

トラム・パッセージ, Tram Passage, Wien
 1995
 ウィーン, 写真
 6点
 62×87cm

キャット・ウォーク, 木場
 Cat Walk, Kiba, Tokyo
 1995
 東京都現代美術館/東京
 写真
 6点
 62×87cm

キャット・ウォーク, 木場
 Cat Walk, Kiba, Tokyo
 1995
 東京都現代美術館/東京
 ドローイング
 7点
 62×87cm

ブンカー
 Bunkar, Recklinghausen
 1995
 クンストハーレ, レックリンクハウゼン
 写真
 4点
 62×87cm

ブンカー
 Bunkar, Recklinghausen
 1995
 クンストハーレ, レックリンクハウゼン
 ドローイング
 6
 62×87cm
 作家蔵

ワーキング・プログレス, アルクマール
 Working Progress, Alkmaar
 1996-2001
 アルクマール
 写真
 8点
 60×85cm

ワーキング・プログレス, アルクマール
 Working Progress, Alkmaar
 1996-2001
 アルクマール
 写真
 7点
 58×82.5cm

ブリッジ・ウォークウェイ, ハルセロナ
 Bridge and walkway, Barcelona
 1996
 ハルセロナ現代美術館/ハルセロナ, ドローイング
 6点
 60×85cm

ルーフ
 Roof, Klems
 1996
 クンストハーレ・クレムス, クレムス
 写真
 2点
 60×85cm

コールマイン田川・プロジェクト
 Coal Mine Tagawa Project, 1996-2000
 田川
 床置き模型
 3点

プラットフォーム・ウォークウェイ
 Platform and walkway
 1997
 ダス・アート/アムステルダム
 写真
 4点
 60×85cm

プラットフォーム・ウォークウェイ
 Platform and walkway
 1997
 ダス・アート/アムステルダム, ドローイング
 3点
 60×85cm

ワーキング・プログレス/ボート・トラベリング
 "Working Progress" "Boat Travelling"
 アルクマール〜ミュンスター彫刻プロジェクト
 1997
 ミュンスター
 写真
 13点
 60×85cm

椅子たちの旅
 Les Chaise de Traverse
 1998
 オテル・サンリヴィエール, メッス/シナゴーク, デルム
 ドローイング
 4点
 60×85cm

芸術の家
 Hans der Kunst, Munchen
 1998
 州立近代美術ギャラリー, ミュンヘン
 ドローイング
 5点
 60×85cm

道行き
 Sur La Voie, 2000
 エブリュウ
 写真
 10点
 60×85cm

トレンチ・アンド・ブリッジ, ミデルハイム
 Trench and Bridge, Middelhim
 2000
 アントワープ
 写真
 4点
 60×85cm

横浜トリエンナーレ2005
 Yokohama Triennale 2005
 2005
 横浜
 模型
 120×2430×1220, 130×545×410(6個),
 100×595×710(2個)
 横浜市文化振興財団

会期	2008年2月9日(土)～4月13日(日)
会場	企画展示室3階
開催日数	56日間
観覧料	一般900円、大学生720円、中高生・65歳以上 450円
入場者数	15,329人
一日平均	274人
出品点数	76点(絵画、写真、インスタレーションなど)
カタログ	B5変形(112頁、カバー:B2折りたたみ)
ポスター	B1、B3
チラシ	A4

【開催趣旨】

1999年より毎年開催している若手作家を中心としたグループ展。本年は、「解きほぐすとき」と題し、解体と再構築による表現をおこなう金氏徹平、高橋万里子、立花文穂、手塚愛子、彦坂敏昭の5人の作家を紹介した。私たちの身の回りにはたくさん物や情報があふれ、物事の輪郭や境界線がわかりづらくなっている。真偽を確かめ、自分なりの価値判断をくだす際、物事を一度ばらばらに解きほぐしてみることが有効になる。既存の意味や過剰な

情報を解体し、その奥にある別の側面を引き出すことにより、重層的な世界の構造をあらためて実感することができよう。本展では、世界を読み解き、解きほぐすことでその構造を自分なりに捉えようとする作家たちの態度をとりあげた。各作家は新作を制作し、過去の作品とともに、当館の空間にあわせスケールの大きな展示をおこなった。

【関連事業】

- (1) アーティスト・トーク
 2月9日(土)手塚愛子 参加者 約30人
 2月23日(土)金氏徹平 参加者 約50人
 3月8日(土)彦坂敏昭 参加者 約60人
 3月22日(土)高橋万里子 参加者 約30人
 4月5日(土)立花文穂 参加者 約120人
- (2) 学芸員による解説
 3月9日(日)、3月23日(日) 参加者計 約90人

【主要関連記事】

- (1) 新聞
 Christoph Mark, "Distortion, decay and break down," *Daily Yomiuri*, February 15, 2008, p.18
 大西若人「構造を読み解く意味を示す」『朝日新聞(夕刊)』2008年3月19日、11面
 (清)「解体し対象とらえる」『読売新聞(夕刊)』2008年3月22日、11面
 黒沢綾子「奥深い魅力を解きほぐす 布の表現」『産経新聞』2008年3月30日、21面
- (2) その他(web)
 Roger McDonald, "Focus: MOT Annual 2008: Unraveling and Revealing", *artscape International*, March 3, 2008 (www.dnp.co.jp/artscape/eng/focus)
 天野一夫「展覧会レビュー MOTアニュアル2008: 解きほぐすとき」『ARTiT』2008年6月4日 (www.art-it.jp/review)

出品リスト

彦坂敏昭	3	6
1 テサグリの図画 No.08 2003 凹版、鉛筆、顔料/紙 64×53cm 高橋コレクション	テサグリの図画 No.11 2003 凹版、鉛筆、顔料/紙 64×53cm 高橋コレクション	テサグリの図画 No.24 2004 凹版、鉛筆、顔料/紙 44×71cm 作家蔵
2 テサグリの図画 No.09 2003 凹版、鉛筆、顔料/紙 64×53cm 高橋コレクション	4 テサグリの図画 No.14 2003 凹版、鉛筆、顔料/紙 101×61cm タマダプロジェクトコーポレーション	7 テサグリの図画 No.25 2004 凹版、鉛筆、顔料/紙 44×71cm 作家蔵
	5 テサグリの図画 No.20 2004 凹版、鉛筆、顔料/紙 51×45cm 作家蔵	8 テサグリの図画 No.28 2004 凹版、鉛筆、顔料/紙 76×89cm 高橋コレクション

9
テサグリの図画 No.45-1(赤)
2006
凹版、色鉛筆、ペン、顔料／紙
80×67.5cm
作家蔵

10
テサグリの図画 No.45-2(赤)
2006
凹版、色鉛筆、ペン、顔料／紙
80×67.5cm
作家蔵

11
テサグリの図画 No.45-3(赤)
2006
凹版、色鉛筆、ペン、顔料／紙
80×67.5cm
作家蔵

12
テサグリの図画 No.45-4(赤)
2006
凹版、色鉛筆、ペン、顔料／紙
80×67.5cm
作家蔵

13
テサグリの図画 No.48(黒)
2006
凹版、鉛筆、ペン、顔料／紙
102.7×132.4cm
作家蔵

14
テサグリの図画 No.58(赤)
2007
凹版、水彩、色鉛筆、ペン、顔料／紙
79×70cm
作家蔵

15
燃える家 No.00
2006
凹版、色鉛筆、ペン、顔料／紙
102.7×132.4cm
作家蔵

16
燃える家 No.01
2007
凹版、色鉛筆、ペン、顔料／紙
30×35cm
作家蔵

17
燃える家 No.04
2007
凹版、水彩、色鉛筆、ペン、顔料／紙
53×100cm
作家蔵

18
燃える家 No.05
2007
凹版、水彩、色鉛筆、ペン、顔料／紙
44.5×59cm
作家蔵

19
燃える家 No.06
2007
凹版、水彩、色鉛筆、ペン、顔料／紙
44.5×59cm
作家蔵

20
燃える家 No.07
2007
凹版、水彩、色鉛筆、ペン、顔料／紙
44.5×59cm
作家蔵

21
燃える家 No.08
2007
凹版、水彩、色鉛筆、ペン、顔料／紙
75×85cm
作家蔵

22
燃える家 No.09
2007
凹版、水彩、色鉛筆、ペン、顔料／紙
116×146cm
作家蔵

23
燃える家 No.11
2007
凹版、水彩、色鉛筆、ペン、顔料／紙
74×60cm
作家蔵

24
燃える家 No.12
2007
凹版、水彩、色鉛筆、ペン、顔料／紙
作家蔵

25
燃える家 No.14
2007
凹版、水彩、色鉛筆、ペン、顔料／紙
164×236cm
作家蔵

高橋万里子

26
月光画
2008
ライトジェットプリント
200×150cm(9点) 309×221cm(3点)
作家蔵
協力:データフォト、フレームマン

27
ニジノハラワタ
2008
DVD
作家蔵

金氏徹平

28
white heat
1997-2007
タイプCプリント
作家蔵

29
muddy stream from a mug
2004
コーヒー等の染みのついた紙・雑誌等の切抜き
26.5×33cm
作家蔵

30
muddy stream from a mug
2004
コーヒー等の染みのついた紙・雑誌等の切抜き
38.5×80.4cm
作家蔵

31
muddy stream from a mug
2004
コーヒー等の染みのついた紙・雑誌等の切抜き
87×130.7cm
作家蔵

32
muddy stream from a mug
2004
コーヒー等の染みのついた紙の切抜き
209×87cm
作家蔵

33
muddy stream from a mug
2004
コーヒー等の染みのついた紙の切抜き
124×60.5cm
作家蔵

34
muddy stream from a mug
2006
コーヒー等の染みのついた紙の切抜き、木、木製品、プラスチック製品等
95×120×19cm
作家蔵

35
muddy stream from a mug #2
2006
コーヒー等の染みのついた紙の切抜き、木、木製品、プラスチック製品等
49×40×52cm
Flowerman Collection

36
muddy stream from a mug #6
2006
コーヒー等の染みのついた紙の切抜き、木、木製品、プラスチック製品等
21×17×22cm
作家蔵

37
muddy stream from a mug #7
2006
コーヒー等の染みのついた紙の切抜き、木、木製品、プラスチック製品等
83×75×90cm
個人蔵

38
muddy stream from a mug #8
2006
コーヒー等の染みのついた紙の切抜き、木、木製品、プラスチック製品等
27.5×24.5×22cm
作家蔵

39
muddy stream from a mug
2008
コーヒー等の染みのついた紙・雑誌等の切抜き
200×140cm
作家蔵

40
white discharge(骸骨)
2007
プラスチック製品等に樹脂
35×29×32cm
作家蔵

41
white discharge(ビニールテープ)
2007
プラスチック製品等に樹脂
8×19×9cm
作家蔵

42
white discharge(はさみ)
2007
プラスチック製品等に樹脂
16×30×17cm
作家蔵

43
white discharge(じゃがいも)
2007
プラスチック製品等に樹脂
28×23×25cm
作家蔵

44
white discharge(コンセント)
2007
プラスチック製品等に樹脂
10×13×15cm
作家蔵

45
white discharge(グラス)
2007
プラスチック製品等に樹脂
21×25×20cm
作家蔵

46
white discharge(建物のように積みあげたもの)
2008
プラスチック製品等に樹脂
200×200×200cm
作家蔵

47
white discharge (outline #28)
2003
塗り絵本・白地図の切抜き
38×40cm
作家蔵

48
white discharge (outline #33)
2006
塗り絵本・白地図の切抜き
158.6×158.6cm
Flowerman Collection

49
white discharge (outline #34)
2006
塗り絵本・白地図の切抜き
140×80cm
大林コレクション

50
white discharge (outline #39)
2007
塗り絵本・白地図の切抜き
40.5×28.5cm
作家蔵

51
white discharge (outline #42)
2008
塗り絵本・白地図の切抜き
60×60cm
作家蔵

52
white discharge (outline)
2008
塗り絵本・白地図の切抜き
美術館の壁にインスタレーション
作家蔵

53
tower
2006
ボールペン、鉛筆／紙
138.6×91.1cm
Flowerman Collection

54
tower
2006
ボールペン、鉛筆／紙
30.5×20.9cm
Flowerman Collection

55
tower
2006
ボールペン、鉛筆／紙
34.0×24.2cm
Flowerman Collection

56
tower
2006
ボールペン、鉛筆／紙
72.6×51.3cm
作家蔵

57
tower
2006
ボールペン、鉛筆／紙
55.6×39.5cm
作家蔵

58
tower
2006
ボールペン、鉛筆／紙
42.2×28.8cm
作家蔵

59
tower
2006
ボールペン、鉛筆／紙
29.7×21cm
作家蔵

60
tower
2006
ボールペン、鉛筆／紙
29×21cm
作家蔵

61
tower
2006
ボールペン、鉛筆／紙
25.7×18.8cm
作家蔵

62
tower
2006
ボールペン、鉛筆／紙
25.7×18.8cm
作家蔵

63
tower
2006
ボールペン、鉛筆／紙
25.7×18.8cm
作家蔵

64
飛沫と破片
2008
木、木製品、虫眼鏡、鏡等
620×690×270cm
作家蔵

65
dust and mist
2004-08
プラスチック製品、ガラス製品等
103.5×203×200cm
作家蔵

手塚愛子

66
縦糸を引き抜く 新しい量として
2003
引き抜いた縦糸、織物、パネル
巾150×400cmの布 140×80cmの楕円パネル
スパイラル／ワコールアートセンター

67
縦糸を引き抜くー五色
2004
長さ180cmの織物から引き抜いた縦糸、
直径70cmの円形パネル6枚
個人蔵

68
空白と充満を同時にぶら下げる
2004
油彩／カンヴァス
194×259cm
作家蔵

69
空白と充満を同時にぶら下げる
2004
油彩／カンヴァス
194×162cm
作家蔵

70
糸 会
2007
織物、絵画用木枠
140×245cm
作家蔵
Courtesy: Kenji Taki Gallery

71
grid – eyck
2008
織物から引き抜いた糸で刺繍
80×65cm
作家蔵

72
grid - suigetsu
2008
織物から引き抜いた糸で刺繍
80×65cm
作家蔵

73
はな
層の機
2008
多色織
650×1100×450cm
作家蔵
協力:川島織物セルコン

74
層の絵 ー縫合
2008
多色織
270×500cm
作家蔵
協力:川島織物セルコン

立花文穂

75
口(くち)
2008
紙と印刷
作家蔵

76
口(く)にがまえ)
2008
紙と印刷
作家蔵

I. 事業報告 | 2 常設展

MOTコレクション

開催日数	253日
入場者数	134,367人
一日平均	531人

- [1] 第1期
会期
出品点数
ポスター
リーフレット
展示構成
- MOTコレクション「2006年度新収蔵作品を中心に／特別公開：岡本太郎《明日の神話》」
2007年 4月27日(金)－7月1日(日)
56点
B1
B5 四つ折り8ページ、B6 三つ折り6ページ
1階 2006年度新収蔵作品を中心に
1・2室 東洋のかたち／3・4室 加藤美佳、奈良美智、会田誠／5室 大竹伸朗／
6・7室 1960年代のポップ・アート、ミニマル・アートからマッシュー・バーニーへ／
8室 高木正勝
3階 特別公開：岡本太郎《明日の神話》
9室 はじまり～原初の触覚／10室 特別公開 岡本太郎《明日の神話》／
11室 未来への飛翔
- [2] 第2期
会期
出品点数
ポスター
リーフレット
展示構成
関連企画
- MOTコレクション「2006年度新収蔵作品を中心に／特別公開：岡本太郎《明日の神話》」
2007年 7月3日(火)－9月30日(日)
56点
第1期から継続
第1期から継続
第1期から継続
「はみだせ太郎!!—《明日の神話》をもっと大きくしよう!」
教育普及係と連携して実施し、《明日の神話》の画面をプリントした5×16mの布に参加者全員が
絵を描き、終了後展示室に掲示。
主催：東京都歴史文化財団、東京都現代美術館
協力：財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団
会場：講堂、常設展示室3F
日時：平成19年10月1日(月・都民の日)13：30－16：30
対象：小学生以上
参加者数：77人 参加料：無料
- [3] 第3期
会期
出品点数
ポスター
リーフレット
展示構成
関連企画
- MOTコレクション「ポップ道 1960s-2000s／特別公開：岡本太郎《明日の神話》」
2007年10月20日(土)－2008年1月27日(日)
79点
B1
B6 三つ折り6ページ
1階 特集展示 ポップ道 1960s-2000s
1室 ポップ百出／2室 ポップ共振／3・4・5室 ポップ反転／6・7・8室 ポップ遍在
3階 特別公開：岡本太郎《明日の神話》
9室 太郎が認めた若者たち／10室 特別公開 岡本太郎《明日の神話》／
11室 未来への飛翔)
「印象派 SPECIAL～MOT VERSION」
夏木マリによるパフォーマンス。
主催：東京都現代美術館、株式会社夏木マリ事務所
会場：常設展示室1階アトリウム、階段、3階展示室
日時：平成20年1月16日－1月20日(5日間、19：00～20：00)
参加者数：635人 参加料：6500円

付記

お正月特別開館
2008年1月2、3日
時間：11：00～17：00
MOTコレクション無料。各日先着100名に「MOTメモ帳」や特別展チケットを無償配布。

[4] 第4期
会期
出品点数
ポスター
リーフレット
展示構成
関連企画

MOTコレクション「ポップ道 1960s-2000s」特別公開：岡本太郎《明日の神話》
2008年2月9日(土) - 4月13日(日)
79点
第3期から継続
第3期から継続
第3期から継続
「MOTコレクション コンサート」
主催：東京都歴史文化財団、東京文化会館、東京都現代美術館
会場：常設展示室1階アトリウム
日時：平成20年3月8日(土) 13：00～14：00
出演者：瀧村衣里(ヴァイオリン)、村田千佳(ピアノ)
参加者数：70人 参加料：無料

第1・2期

1F MOTコレクション：2006年度新収蔵作品を中心に

1 スウ・ドーホー リフレクション ナイロン、ステンレススチール管 2004/2007 可変	2001 145.5×436.5cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈	アクリル／カンヴァス 2006 162.5×130cm 寄託
2 藤本由紀夫 EAR WITH CHAIR(MOT) ステンレス、プラスチック、倉俣史朗デザインによる椅子 1990/2007 可変	9 白髪一雄 地平星鉄臂膊 油彩／カンヴァス 1961 162×130cm 寄託	17 会田 誠 たまゆら(戦争画RETURNS) アクリル、油彩／麻布、襖、蝶番 1999 各169×169cm
3 中ハシ クシゲ OTOMI 鉄、銅線、アルミニウム 1990 225×360×150cm	10 蔡 國強 Project for Extraterrestrials No.9 胎動II 火薬／和紙 1991 200×680cm	18 会田 誠 美しい旗(戦争画RETURNS) 木炭、大和のりをメディウムにした自家製絵具、アクリル／襖、蝶番 1995 各169×169cm 高橋コレクション寄託
4 佐藤多持 水芭蕉 岩絵具／紙 1955 52.7×72.7cm 佐藤美喜子氏寄贈	11 金 昌烈 水滴 J.T.82024-79 油彩／カンヴァス 1979 181.5×227cm	19 大竹伸朗 ゴミ男 バルサ、印刷物、鉄、木、プラスチック、ゴム、フィルム、段ボール、植物、布、厚紙、紙、マスキングテープ、石膏、アクリル、油彩、水彩、缶、砂、梱包材、靴下、おもちゃのピストル、ギターネック、グラインダーの歯、イミテーションの真珠、カシュー塗料、木炭、消しゴム、家庭用炭酸ガスボンベ、包装紙、紙テープ、木屑、ロウ、竹、はけ、オープンリール用録音テープ／木製パネル；テープレコーダー、マスキングテープ、スピーカー 1987 405×405×20cm
5 佐藤多持 水芭蕉曼陀羅 み 墨／紙 1966 163×91cm 佐藤美喜子氏寄贈	12 方 力鈞 1993 No.11 油彩／カンヴァス 1993-94 180×230cm	20 大竹伸朗 スクラップブック#31、#32、#33、#34、#35、#55、#64 1983-2006 寄託、展示協力:graf media gm
6 佐藤多持 水芭蕉曼陀羅 め 墨／紙 1966 163×91cm 佐藤美喜子氏寄贈	13 加藤美佳 Seed 油彩／カンヴァス 2006 106×120cm	21 ゲルハルト・リヒター エリザベート 油彩／カンヴァス 1965 198×145cm
7 佐藤多持 水芭蕉曼陀羅 黄15 墨、淡彩／紙 1969 163×546cm 佐藤美喜子氏寄贈	14 加藤美佳 カナリア 油彩／カンヴァス 1999 194×194cm 寄託	22 ドナルド・ジャッド 無題 コールド・ロールド・スチール 1973 23×101.6×78.7cm
8 山本直彰 IKAROS 20013 岩絵具、箔、樹脂膠／麻紙	15 奈良美智 サヨン(沙詠) アクリル／カンヴァス 2006 146×112.5cm	23 ロイ・リキテンスタイン ヘア・リボンの少女
	16 奈良美智 White Night	

油彩、マグナ／カンヴァス	アクリル、ジェッツ、鉛筆／カンヴァス	31
1965	1984	エドワード・ルッジェ
121.9×121.9cm	182.9×182.9cm	ウェスタン
24	28	油彩／カンヴァス
ロバート・マンゴールド	ロバート・ラウシェンバーグ	1969
XペインティングI (赤)	オーヴァーキャスト I	152.4×137.6cm
アクリル、鉛筆／カンヴァス	油彩、シルクスクリーン／カンヴァス	32
1980	1962	マシュー・バーニー
305×305cm	246.4×182.8cm	拘束のドローイング9;ミラー・ポジション
25	29	C-プリント
ジョン・バルデッサリ	アンディ・ウォーホル	2005
生き残ること(動機と根拠)	6枚組の自画像	各83.8×105.4×3.8cm
カラー写真、アクリル絵具	アクリル、シルクスクリーン・インク、鉛筆／カンヴァス	33
1996	1966	高木正勝
249.9×320.4cm	169×112cm	Bloomy Girl
26	30	DVD
フランク・ステラ	ジェフ・クーンズ	2005
クォスランバ	2段による掃除機の転置:新品のフーヴァー・コンヴァーティブ	34
金属粉、塗料／カンヴァス	ル、新品のシェルトン・ウェット／ドライ・5ガロン、新品のシェルトン・ウェット／ドライ・5ガロン	高木正勝
1964	真空掃除機、アクリル板、蛍光灯	el viento
196.8×454cm	1981-1987	DVD
27	251.5×137.2×71.1cm	2006
アグネス・マーティン		作家寄贈
無題 #3		

3F 特別公開 岡本太郎《明日の神話》

1. はじまり 原初の触覚	176.5×233.7cm	300×60×30cm
35	43	作家蔵
岡本太郎	今井俊満	50
瑞鳥(小)	東方の光	ヤノベ ケンジ
FRP	油彩／カンヴァス	タワー・オブ・ライフ 断片—未来の果実—
1987	1957	エキスポタワー部材、写真
30×44×25cm	183×600cm	2003
川崎市岡本太郎美術館蔵	財団法人草月会寄託	275×260×32cm
36	44	作家蔵
岡本太郎	吉原治良	51
噴火口	作品	ヤノベ ケンジ
陶	油彩／カンヴァス	アトムスーツ No.8
1981	1962	ガイガー・カウンター、PVC、ストロボライト他
30×34.2×32.2cm	182×272cm	1997-2003
川崎市岡本太郎美術館蔵	45	75×60×175cm
37	白髪一雄	作家蔵
岡本太郎	天微星九紋竜	52
花器無口	油彩／カンヴァス	青木兼治、ヤノベ ケンジ
陶	1963	太陽の塔乗っ取り計画
1967	182×273cm	映像(16分)
10×33×18.5cm	寄託	2003
川崎市岡本太郎美術館蔵	2. 明日の神話	作家蔵
38	46	53
岡本太郎	岡本太郎	青木兼治、ヤノベ ケンジ
花器歩み	明日の神話	アトムスーツ・サヴァイヴァル・リヴァイヴァル
陶	アクリル系塗料／コンクリート板	映像(13分)
1967	1968-1969	2003
24×30×19cm	550×3000cm	作家蔵
川崎市岡本太郎美術館蔵	財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団蔵	54
39	47	会田 誠
岡本太郎	岡本太郎	スペース・ウニコ
四面の壺	明日の神話 下絵	アクリル下地、油絵具／綿布、パネル
陶	油彩／カンヴァス	1998
1980	1967	230×330cm
28×28×24cm	29×181.5cm	寄託
川崎市岡本太郎美術館蔵	岡本太郎記念館蔵	55
40	3. 未来への飛翔	会田 誠
岡本太郎	48	スペース・ナイフ
飛翔	八谷和彦	アクリル下地、油絵具／綿布、パネル
陶	エアボードβ	1998
1977	アルミニウム、カーボン繊維、ジェットエンジン他	230×330cm
33.5×38.3×38cm	1999	寄託
川崎市岡本太郎美術館蔵	220×50×30cm	56
41	作家蔵	宮島達男
モーリス・ルイス	49	それは変化し続ける それはあらゆるものと関係結ぶ それは
金色と緑色	八谷和彦	永遠に続く
アクリル／カンヴァス	エアボードγ	赤色発光ダイオード(TIME D-R 1728個)、集積回路、電気コード、基板、変圧器
1958	アルミニウム、カーボン繊維、ジェットエンジン他	1998
237.5×352cm	2001	384×288cm
42		
マーク・ロスコ		
赤の中の黒		
油彩／カンヴァス		
1958		

1 スウ・ドーホー リフレクション ナイロン、ステンレススティール管 2004/2007 可変	162.5×132cm 14 清水 晃 色盲検査表 No.6 油彩、コラージュ／カンヴァス 1963	ぬりどき日本列島 インク／紙 1995-2000 38.9×26.9cm(1点のみ53.8) 作家寄託
2 藤本由紀夫 EAR WITH CHAIR (MOT) アルミニウム、プラスチック、倉俣史朗デザインによる椅子 1990/2007 130×450×200cm	162.5×132cm 15 小島信明 無題(ボディー) ラッカー、ポリエステル樹脂 1966(1982再制作)	27 グループ七彩 仲間 ミクストメディア 1971 作家寄贈
3 中ハシ 克シゲ OTOMI 鉄、銅線、アルミニウム 1990 225×360×150cm	165.8×101×49cm 16 谷川晃一 ウルサマルカンドの花嫁 グアッシュ／紙 1966	28 会田 誠 たまゆら(戦争画 RETURNS) アクリル、油彩／麻布、襖、蝶番 1999 各169×169cm
4 ジェームス・ローゼンクイスト バンディエーニのために 油彩／カンヴァス 1968 152.4×345.5cm	121×182cm 17 谷川晃一 金管の精霊 グアッシュ／紙 1966	29 会田 誠 美しい旗(戦争画 RETURNS) 木炭、大和のりをメディアウムにした自家製絵具、アクリル／襖、蝶番 1995 各169×169cm 高橋コレクション寄託
5 ロイ・リキテンスタイン ヘア・リボンの少女 油彩、マグナ／カンヴァス 1965 121.9×121.9cm	121×182cm 作家寄贈 18 菊畑茂久馬 ルーレット 油彩／板 1963	30 野田哲也 日記 1968年5月15日 木版、シルクスクリーン 1968 78×78cm
6 クレス・オルテンバーク スリーウェイブラグ スケールB、ソフト 皮、木 1970 182.9×91.4×58.4cm	172×183cm 19 岡本信治郎 笑っちゃったゴッホ 油彩／カンヴァス 1966	31 野田哲也 日記 1970年4月27日 和紙、木版、シルクスクリーン 1970 45×45cm
7 アンディ・ウォーホル マリリン・モンロー シルクスクリーン／紙 1967 各91.5×91.5cm	259.8×194.2cm 20 饗 嘯 アダムとイヴ 油彩／カンヴァス 1967	32 野田哲也 日記 1970年4月28日 和紙、木版、シルクスクリーン 1970 44.7×45cm
8 トム・ウェッセルマン 浴槽コラージュ#2 油彩、コラージュ、オブジェ／板 1963 122×185.5×16.5cm	144×103cm 21 篠原有司男 花魁 アクリルボード、アクリル／カンヴァス 1966	33 野田哲也 日記 1970年5月20日 和紙、木版、シルクスクリーン 1970 44.5×44.5cm
9 デイヴィッド・ホックニー スプリングラー アクリル／カンヴァス 1967 125.8×123.8cm	183.5×183.5cm 22 横尾忠則 花嫁 アクリル／カンヴァス 1966	34 野田哲也 日記 1971年5月15日 和紙、木版、シルクスクリーン 1971 44×44.3cm
10 横尾忠則 KISS KISS KISS DVD 1964 作者寄贈	53×45.5cm 23 横尾忠則 歯磨き アクリル／カンヴァス 1966	35 野田哲也 日記 1972年5月31日(a) アルミ板にリト・オフセット、シルクスクリーン 1972 60×72cm
11 タイガー 立石 アラモのスピリクス 油彩／カンヴァス 1966 130.3×162cm	72.5×60.5cm 24 柳 幸典 ヒノマル・コンテナ(ヤマトTUMULUS TYPE Y) スチール、鏡、合板、電球、ネオン管 1992	36 野田哲也 日記 1972年5月31日(b) アルミ板にリト・オフセット、シルクスクリーン 1972 60×72cm
12 篠原有司男 思考するマルセル・デュシャン 油彩／カンヴァス 1963 160×120cm	230×230×600cm 賞美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈 25 柳 幸典 トウキョウ・ダイアグラム アクリル／カンヴァス 1992	37 野田哲也 日記 1975年11月12日(c) シルクスクリーン、木版 1975 70.5×46.7cm
13 清水 晃 色盲検査表 No.5 油彩、コラージュ／カンヴァス 1963	195.5×195.5×4.8cm 26 大竹伸朗	38 野田哲也 日記 1976年8月19日 シルクスクリーン、木版

1976
70.8×46.6cm

39
野田哲也
日記 1977年3月3日(b)
シルクスクリーン、木版

1977
44.8×64.2cm

40
野田哲也
日記 1977年8月10日
シルクスクリーン、木版

1977
79×43cm

41
小沢 剛
地蔵建立 テヘラン、昭和六三年八月二四日
写真

1988
45.5×45.5cm

42
小沢 剛
地蔵建立 伊勢神宮、平成元年四月二日
写真

1989
45.5×45.5cm

43
小沢 剛
地蔵建立 天安門広場、平成元年八月三日
写真

1989
45.5×45.5cm

44
小沢 剛
地蔵建立 糸満、平成二年八月十五日
写真

1990
45.5×45.5cm

45
小沢 剛
地蔵建立 板門店、平成四年七月二日
写真

1992
45.5×45.5cm

46
小沢 剛
地蔵建立 聖徳記念絵画館、平成五年四月二九日
写真

1993
45.5×45.5cm

47
小沢 剛
地蔵建立 ラサ(祭り)、1993年8月12日
写真

1993
55.5×45cm

48
小沢 剛
地蔵建立 チベット(砂漠)、1993年8月22日
写真

1993
102×126cm

49
小沢 剛
地蔵建立 富士山、1995年8月9日
写真

1995
55.5×45cm

50
小沢 剛
地蔵建立 上九一色村、1995年8月10日
写真

1995
45×55.5cm

51
小沢 剛
地蔵建立 土佐、1995年8月21日
写真

1995
55.5×45cm

52
アレックス・カツツ
リンダ
油彩／カンヴァス

1989
101.6×330.2cm

53
アレックス・カツツ
ブルーコート
油彩／カンヴァス

1990
243.8×121.9cm

54
奈良美智
White Night
アクリル／カンヴァス

2006
162.5×130cm

55
奈良美智
サヨン(渉詠)
アクリル／カンヴァス

2006
146×112.5cm

56
トニー・アウスラー

1、2、3
布の人形、スーツケース、プロジェクター、ビデオ、ビデオテープ

1996
31.5×40.6×45.7cm

57
森村泰昌
批評とその愛人A
透明メディウム／カラー写真

1990
180×225cm

3F 特別公開：岡本太郎《明日の神話》

58
岡本太郎
旧都庁壁画「日の壁・月の壁」1/5複製
陶板

1991(1956)
各120×80cm

59
岡本太郎
憂愁
油彩／カンヴァス

1947
100×64cm

財団法人草月会寄託

60
岡本太郎
足場
油彩／カンヴァス

1952
99×73cm

財団法人草月会寄託

61
間所紗織
女 XI
インク、のり染／綿布

1955
130.5×89.5cm

62
間所紗織
イザナギノミコトの国造り
のり染、インク、パステル／綿布

1955
130.5×89.4cm

63
村上善男
物質の変声期Mの場合
注射針、ポリエステル、新聞紙型／合板

1964
145.5×145.5cm

64
村上善男
物質の変声期Mの場合
注射針、ポリエステル、新聞紙型／合板

1964
145.5×145.5cm

65
吉仲太造
モノローグ
油彩／カンヴァス

1956
145×97cm

66
吉仲太造
窮鼠
油彩／カンヴァス

1956
227×182cm

67
吉仲太造
地球人
油彩／カンヴァス

1956
182×228cm

68
岡本太郎
明日の神話
アクリル系塗料／コンクリート板

1968-1969
550×3000cm

財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団蔵

69
岡本太郎
明日の神話 下絵
油彩／カンヴァス

1967
29×181.5cm

財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団蔵

70
ホンマ タカシ
「TOKYO SUBURBIA 東京郊外」幕張ベイタウン、千葉県美浜区

カラープリント

1995-98

121×148cm

71
ホンマ タカシ
「TOKYO SUBURBIA 東京郊外」ラブホテルUFO、千葉県美浜区

カラープリント

1995-98

121×148cm

72
ホンマ タカシ
「TOKYO SUBURBIA 東京郊外」浦安マリナイースト21、千葉県浦安市

カラープリント

1995-98

121×148cm

73
ホンマ タカシ
「TOKYO SUBURBIA 東京郊外」海岸幕張パークینگエリア、千葉県美浜区

カラープリント

1995-98

121×148cm

74
宮島達男
それは変化し続ける それはあらゆるものと関係を結ぶ それは永遠に続く
赤色発光ダイオード(TIME D-R 1728 個)、集積回路、電気コード、基板、変圧器

1998
384×288cm

75
ヤノベ ケンジ

タワー・オヴ・ライフ 断片—未来の果実—
エキスポタワー部材、写真
2003
275×280×32cm
作家蔵

76
ヤノベ ケンジ、青木兼治
太陽の塔乗っ取り計画
映像(16分)
2003
作家蔵

77
ヤノベ ケンジ、青木兼治
アトムスーツ・サヴァイヴァル・リヴァイヴァル
映像(13分)
2003
作家蔵

78
大岩オスカール
戦争と平和(戦争)
油彩／カンヴァス
2001

222×444cm
作家寄託

79
大岩オスカール
戦争と平和(平和)
油彩／カンヴァス
2001
222×444cm
作家寄託

I. 事業報告 | 3 教育普及事業

当館では、平成7年度の開館以来、教育普及事業を通じて、鑑賞教育の充実を図ってきた。特に、美術館を都民により開かれた施設と位置づけ、地域や学校との結びつきを深めるために、ボランティアによる常設展示作品解説を毎日実施するとともに、子ども(親子含む)を対象としたプログラムにも力を入れている。

[1] MOT美術館講座

現代美術をより深く鑑賞するために、作家や研究者が現代美術に親しむためのポイントを解説し講義する、現代美術ファン層を広げるための講座。

19年度は、現代美術や美術館になじみのない方に、わかりやすく現代美術を紹介するための講座を実施した。

・第38回講座「開かれた絵画—写真・浮世絵・文化」
「マルレーネ・デュマス」展の開催を記念し、絵画と他メディアとのかわり、絵画の可能性について考える連続講演会を実施。写真、浮世絵、文化をテーマに3名が講演した。

開催日時	テーマ	講師	参加者
6月2日(土) 15:00-17:00	「写真と絵画における生と死について」	荒木経惟(写真家) 聞き手:長谷川祐子 (東京都現代美術館 事業企画課長)	155人
6月16日(土) 14:00-16:00	「幕末明治の絵師・月岡芳年—デュマスに影響を与えた異色の造形」	内藤正人(慶応大学 准教授)	36人
6月30日(土) 14:00-16:00	「混血(クレオール)から怪物(キメラ)へ」	今福龍太(東京外語 大学大学院教授)	75人

平成19年度も、あらゆる来館者が現代美術と対話し理解を深めることができるよう、来館者の知的好奇心や学習ニーズに配慮して、ギャラリートークをはじめ美術館講座、ギャラリークルーズ、ワークショップ等を実施した。

・第39回講座
岡本太郎が目指した芸術とは何か? そして後世に残した足跡とは何か? 《明日の神話》が生まれた背景を掘り下げつつ、岡本太郎の21世紀における位置と役割について考える連続講演会を実施。美術史、修復、人類学など様々な分野の4名を講師に招いた。

開催日時	テーマ	講師	参加者
3月1日(土) 15:00-16:30	「岡本太郎の神話と素顔」	針生一郎(文芸・美術 評論家/和光大学学 名譽教授)	51人
3月9日(日) 15:00-16:30	「岡本太郎の中のメキシコ」	仲野泰生(川崎市民ミ ュージアム、元川崎 市岡本太郎美術館学 芸員)	50人
3月16日(日) 15:00-16:30	「岡本太郎の技法と《明日の神話》の修復」	吉村絵美留(絵画修 復家)	44人
3月20日(木・祝) 15:00-16:30	「日本のアヴァンギャルドとは何か」	中沢新一(人類学者/ 多摩美術大学芸術人 類学研究所所長)	209人

[2] ワークショップ

現代美術作家を指導者に招き、共同制作することにより、参加者が現代美術の創作プロセスを体験し、現代美術に対する理解を深めてもらう活動を実施した。

①夏休み子どもワークショップ「眠りの森〜こわくて楽しいヒミツの森をつくろう!」

夏休み恒例の、小学生を対象としたワークショップ。アーティスト・磯崎道佳氏の企画・指導により、美術館エントランスに「眠りの森」を創出した。3日間連続のワークショップで、1日目は「眠る人づくり」、2日目は「森づくり」と「眠る人の仕上げ」、3日目は「フシギな動物づくり」とお披露目会を実施。ワークショップ終了後、来館者に向け、ワークショップの成果展をエントランスにて開催した。また実施に際し高校生ボランティアの受け入れを開始した。

- ・企画・指導：磯崎道佳(アーティスト)
- ・参加人員：小学3年～6年生 35人 (事前申込制)(応募総数79人)
- ・日 時：ワークショップ 8月3日(金)～5日(日)(3日間連続)
各日10:00-15:00
参加者作品展示 8月7日(火)～19日(日)
(観覧者数 約7000人)
- ・場 所：講堂、エントランス
- ・参加費：2,000円
- ・ボランティア参加人数：のべ67人



磯崎道佳氏(写真中央)



「森づくり」の様子



ワークショップ成果展の様子

②春のワークショップ「ウサ星人とフシギドーブツのMOT
オモロ旅!～美術館のオモロスペースを探せ!～」

アーティスト・ミヤタケイコ氏の企画・指導により、フシギドーブツ(ぬいぐるみ)を制作し、それらを美術館内外に連れだし、気になる面白いスペースを見つけ写真撮影。どんな面白い場所をみつけたか報告書を作成した。ワークショップの成果はMOTカフェ付近にて展示。

- ・企画・指導：ミヤタケイコ(立体造形作家)
- ・参加人員：高校生以上～一般 20人(23日)、21人(29日)(事前申込制)
(応募総数48人)
- ・日 時：ワークショップ 3月23日(日) 10:00～15:00
3月29日(土) 10:00～15:00
参加者作品展示 4月1日(火)～13日(日)(観覧者数804人)
公開制作(アーティストによるワークショップ準備の様子を公開)
3月14日(金)～16日(日) 12:00～18:00
- ・場 所：スタジオ、美術館内外
- ・参加費：1,500円
- ・ボランティア参加人数：のべ35人



ミヤタケイコ氏



フシギドーブツ制作の様子



ワークショップ成果展示

[3] ギャラリークルーズ

学芸員と一緒に、様々なツールを使って楽しみながら美術館内や展示室をめぐり、体験的に作品鑑賞等を行う事業を、年間にわたり実施した。

①びじゅつかんたんけんクルーズ

- 日 時：5月19日(土)・20日(日) 10:30～12:30
- 場 所：美術館内各所
- 参加対象：小学1年～6年生 (事前申込制)
- 参加人員：5月19日(土) 20人・5月20日(日) 23人 (応募総数74人)

②こどもギャラリークルーズ「大きなコレクションと小さなコレクション」

- 日 時：6月23日(土)・24日(日) 13:00～15:00
- 場 所：スタジオ、常設展示室、収蔵庫
- 参加対象：小学3年～6年生 (事前申込制)
- 参加人員：6月23日(土) 17人・6月24日(日) 21人 (応募総数100人)

③こどもギャラリークルーズ「夏休みのハプニング」

- 日 時：8月25日(土)・26日(日) 13:00～15:00
- 場 所：スタジオ、企画展示室
- 参加対象：小学1年～4年生 (事前申込制)
- 参加人員：8月25日(土) 29人・8月26日(日) 31人 (応募総数170人)

④「SPACE FOR YOUR FUTURE」展 親子で楽しむギャラリークルーズ「未来ウォッチング」

- 日 時：12月2日(日)・12月9日(日) 13:00～15:00
- 場 所：スタジオ、企画展示室
- 参加対象：小学3年～6年生とその保護者 (事前申込制)
- 参加人員：12月2日(日) 20組・12月9日(日) 20組 (応募総数57組)

⑤家族ギャラリークルーズ「家族で挑戦! クイズ・美術館キング」

- 日 時：2008年2月16日(土)・17日(日) 13:00～15:00
- 場 所：美術館内各所
- 参加対象：小学生とその家族 (事前申込制)
- 参加人員：2月16日(土) 36組・2月17日(日) 37組 (応募総数91組)



[4] 人材育成

①ボランティアの育成

常設展示室のギャラリートークを担当するボランティアのガイドスタッフ36人を対象として、作品解説の一層の充実・向上を図るため、研修会を実施したほか、展示替えの都度、学芸員による作品や作家等についての解説を行うとともに、資料を配付した。また、毎月定例会や他館ボランティアとの交流会を開催し、意見交換や連絡等を行った。

- ・研修内容等：常設展示の展示替え研修 4回
ボランティア研修会
・小沢 剛(アーティスト)
講演会(2008年1月12日実施)
- ・定例会(毎月実施) 全12回
- ・ボランティア交流会(世田谷美術館ボランティア)：
2回(9月1日、2008年1月19日実施)

[5] 学校教育との連携

①ミュージアム・スクール(体験型の作品鑑賞)

学校団体を対象として、学芸員が対話を交えて作品解説する通年実施のプログラム。子どもの鑑賞力や感性を高めることをねらいとし、学校ごとにカリキュラム等に応じたオリジナル・プランを作成して実施(教員研修会、学芸員による出張授業等を含む)した。尚、本年度は11月～12月の火曜と木曜に「SPACE FOR YOUR FUTURE」展でも実施。

- 対象：小・中・高校・大学生・その他
- 申込方法：事前申込
- 参加費：無料
- 実施件数：104件(研修・出張事業18件含)
- 参加人員：4,257人(研修・出張事業371人含)



②アーティストの一日学校訪問

子どもたちが、学校の授業で、現在活躍中の美術作家と交流することにより最新のアートを体験するプログラム。美術館に来館できない遠隔地の学校にも現代美術の魅力を直に伝えることをねらいとしており、今年度はアーティストの佐藤一朗氏とともに島嶼地域を含む全6校を訪問した。尚、学校からの特別依頼を受け美術作家・天利道子氏による学校訪問も2校実施した。



佐藤一朗氏

学校訪問の様子

②博物館実習の受入れ

博物館実習生として12名の学生を受け入れ、8日間、美術館における学芸業務等について講義と実習を行った。

- ・実施日：11月13日(火)～11月22日(木)(18日、19日除く。)
- ・実習カリキュラム

実施日	10:10～12:10	13:10～15:10
11月13日(火)	美術館概要・館内案内 (企画係)	展覧会について (事業企画課長)
11月14日(水)	教育普及事業概要 (教育普及係)	ギャラリートーク指導 ※16:00終了 (教育普及係)
11月15日(木)	企画展について(2)	企画展について(3)
11月16日(金)	企画案プレゼンテーション (企画係)	企画案プレゼンテーション (企画係)
11月17日(土)	ギャラリートーク リハーサル (教育普及係)	美術館の広報活動 (広報班)
11月20日(火)	美術図書室 (事業係、司書)	コレクションについて(1) (事業係)
11月21日(水)	コレクションについて(2) (事業係)	ギャラリートーク本番 (教育普及係)
11月22日(木)	企画書提出・コメント・ まとめ (企画係)	企画書提出・コメント・ まとめ (企画係)

講師	実施日	訪問先	学年	参加者数
佐藤一朗	12月14日	江戸川区立一之江小学校	小学校5年生	33人
	1月15日	町田市立つくし野小学校	小学校6年生	44人
	2月1日	台東区立浅草小学校	小学校5年生	66人
	2月4日	大島町立第一中学校	中学校3年生	34人
	2月15日	江東区立東立川小学校	小学校4年生	62人
	2月21日	日野市立日野第一小学校	小学校5年生	31人
				計270人

講師	実施日	訪問先	学年	参加者数
天利道子	12月15日	杉並区立若杉小学校	全学年	145人
	12月20日	東京都立神津島高等学校	全学年	47人
				計192人

③鑑賞用教材の貸出

学校における鑑賞教育等に活用できるビデオテープ(DVD:全2種類)、スライドキット(全7テーマ)を貸出しするプログラム。団体鑑賞教室の事前学習のほか、遠方で美術館に来館できない学校や、大学の博物館実習の授業等で利用された。

ビデオテープ貸出件数	16件
DVD貸出件数	14件
スライドキット貸出件数	18件



④先生のための特別研修会

学校教員が気軽に美術館を使用するきっかけをつくり、団体鑑賞教室の利用や、学校と美術館の連携のために学校教員(小・中・高・特別支援)に向けて、企画展を用いたギャラリートークを実施。

「磯辺行久展」
実施日8月28日:参加者数11人(応募者数11人)

「SPACE FOR YOUR FUTURE展」
実施日11月2日:参加者数30人(応募者数44人)

[6] ガイドスタッフによるギャラリートークの実施

当館と来館者の架け橋として、現代美術を理解しやすい形で来館者に伝えるため、ガイドスタッフ36人が、常設展示室の作品解説を休館日を除く毎日実施した。

尚、今年度は、2つの企画展においても実施した。

実施回数303回
利用人数 常設展 2565人
企画展 1529人
(マルレーネ・デュマス展、SPACE FOR TOUR FUTURE展)
合計 4094人

[7] 解説印刷物等

①「収蔵作品選」の販売

当館がこれまでに収集した約3,800点にのぼる作品の中から、常設展示の中心となる105点を選び、カラー図版と解説を掲載した図録。和英併記。

・販売価格:953円

②「解説シート」の配布

収蔵作品の中から何点かを選び、作品解説と作家略歴を掲載した葉書大のカード。全201種。和英併記。

常設展示室内の当該作品の近くにある解説シートボックスに置き、来館者が自由に持って行く。

③「テーマ別ガイド」の配布

テーマごとに、収蔵作品の中から10点を選び、解説を付した、ガイドブック。全8種類。和英併記。

常設展示室改札に置き、来館者が自由に持って行く。

④「MOT観光マップ～子どものための美術館ガイド」の配布

子どもたちに美術館内の施設や展示作品を紹介するための、イラスト入りのリーフレット。館内に置いて、来館者が自由に持って行く。

⑤「野外彫刻パズルマップ」の配布

野外彫刻をたのしく見てもらうためのパズル式リーフレット。館内の各受付に置いて、来館者が自由に持って行く。

⑥「学校向け案内」の配布

学校の団体鑑賞教室利用を促進するため、美術館で実施する学校向け事業の紹介案内。

配布方法:年度末に次年度分を、都内小・中・高校の美術担当教師あてに送付。

I. 事業報告 | 4 美術資料の収集・保存・貸出

[1] 東京都現代美術館美術資料収集実績
(平成20年3月31日現在)

区分	油彩画	日本画	水彩・素描	版画	彫刻	工芸	写真・映像	書	資料	二次	計
既収集作品 (昭和62年度まで)					(12)						(12)
	584	139	427	1,523	222	70	10	36	0		3,011
基金で取得 (昭和63年～平成8年)	124	30	24	312	28	0	15	0	1		534
都予算による取得 (平成9年度以降)	30	0	9	3	27	1	61	0	1		132
寄贈 (昭和63年度以降)	62	27	48	56	24	10	88	0	27		342
計	800	196	508	1,894	301	81	174	36	29		4,019

()内は東京都美術館野外展示作品内数

[2] 東京都現代美術館美術資料収集実績
(昭和63年度～平成19年度)

年度	種別	油彩画	日本画	水彩・素描	版画	彫刻	工芸	写真・映像	二次資料	小計(点)	合計	購入金額
昭和63	寄贈									0	7	85,000,000
	購入	4	2						1	7		
平成元	寄贈		1		6				1	8	195	639,076,300
	購入	20	7	1	155	4				187		
平成2	寄贈		1							1	15	384,130,000
	購入	8	2			4				14		
平成3	寄贈	2	2							4	72	2,611,251,270
	購入	38	13	2	6	7		2		68		
平成4	寄贈	2	3	4	1					10	58	1,853,152,870
	購入	34	6	3	1	4				48		
平成5	寄贈	1			1					2	10	81,390,600
	購入	4		1		3				8		
平成6	寄贈									0	148	768,390,300
	購入	1			147					148		
平成7	寄贈									0	8	216,348,000
	購入	2		2	1	3				8		
平成8	寄贈	1						1		2	48	183,282,640
	購入	13		15	2	3		13		46		
平成9	寄贈	5		2	5			1	7	20	42	145,534,442
	購入	8		7	1	5		1		22		
平成10	寄贈	4				1		15	2	22	57	134,827,000
	購入	8		1	1	7		18		35		
平成11	寄贈	1		7	40	5		36		89	120	51,835,500
	購入	6			1	4		20		31		
平成12	寄贈	7						8	1	16	16	0
	購入									0		
平成13	寄贈	13		1	1					15	15	0
	購入									0		
平成14	寄贈	2		13	1			1		17	17	0
	購入									0		
平成15	寄贈	9			1	2				12	12	0
	購入									0		
平成16	寄贈	2				7			1	10	10	0
	購入									0		
平成17	寄贈	4	2	4		1		8	5	24	24	0
	購入									0		
平成18	寄贈		5					1	8	14	22	79,935,400
	購入					2		2		8		
平成19	寄贈	9	13	17		8	10	17		74	112	79,699,440
	購入	4		1		9	1	20	1	36		
	報告								2	2		
合計	寄贈	62	27	48	56	24	10	88	25	340	1008	7,313,853,762
	購入	154	30	33	315	55	1	76	2	666		
	報告								2	2		

[3]平成19年度新収蔵作品

購入	12	23
1	島袋道浩	石川直樹
トピマス・レーベルガー	贈り物: 猿のための展覧会(京都)	「Grave yard / Ilulissat」
母型81%	1992	2006
2007	チバクロームプリント、テキスト	タイプCプリント、フォトアクリル
アクリル板、木、合金、塗料、マーカー、ダクトテープ、マジックテープ	77×77cm	90×112cm
268×790×557cm	13	24
2	島袋道浩	石川直樹
八谷和彦	同棲(金魚とヒヤシンス)	「Svalbard / NORWAY #1」
エアボード	1992	2007
2001	チバクロームプリント	タイプCプリント、フォトアクリル
ターボジェットエンジン、燃料、アルミ、ステンレス、	77×54.5cm	90×112cm
ケブラー(不燃布)、他	14	25
300×60×30cm	青木陵子	石川直樹
3	(ドローイング)	「Svalbard / NORWAY #2」
秋山さやか	《UNDER THE SECRET》より	2007
あるく 私の生活基本形→深川 2006年8月4日～	2007	タイプCプリント、フォトアクリル
2007	ドローイング、コラージュ、他	90×112cm
ししゅう糸、もめん糸、毛糸、リボン、帯じめ、ひも、くさり、ボタン、	15	26
スパンコールなど/ポリエステル、布、プロジェクター、PC	横内賢太郎	石川直樹
235×235cm	Book - tear	「Iceberg / Svalbard #1」
4	2007	2007
ヤノベ ケンジ	メディウム、染料/サテン	タイプCプリント、フォトアクリル
M・ザ・ナイト	131×163 cm	90×112cm
2006	16	27
ガスマスク、鉄、真鍮、他	横内賢太郎	石川直樹
高さ240cm	Book - SOTH LO9501	「THE VOID #17」
5	2005	2005
ヤノベ ケンジ	メディウム、染料/サテン	タイプCプリント、フォトアクリル
ロッキング・マンモス	194×97cm	90×112 cm
2005	17	28
鉄、機械部品、他	足立喜一郎	石川直樹
370×190×450cm	e.e.no.24	「THE VOID #30」
6	2004 / 2008	2005
島袋道浩	電話ボックス、マジックミラー、ミラーボール、ipod、ヘッドフォン、他	タイプCプリント、フォトアクリル
そしてタコに東京観光を贈ることにした	257×98×97cm	90×112 cm
2000	18	29
DVD、ドローイング	嶺脇美貴子	石川直樹
可変	mineorities	「NEW DIMENSION #260」
7	1998-2007	2007
島袋道浩	デュボン TM コーリアン [®] 、カプセル、お椀、ネックビーズ、プレスレット、他	タイプCプリント、フォトアクリル
片方の眉毛を剃ってヨーロッパを旅した	サイズ可変	90×112cm
1991	19	30
タイプCプリント、テキスト	荒神明香	石川直樹
77×110cm	reflectwo	「NEW DIMENSION #278」
8	2006	2007
島袋道浩	造花、アクリル	タイプCプリント、フォトアクリル
ティファナ	可変	90×112cm
1992	20	31
タイプCプリント、テキスト	木村友紀	田中功起
77×110cm	YOU MAY ATTEND A PARTY WHERE STRANGE	Pick up something from FRAC Champagne-Ardenne
9	CUSTOMS PREVAIL	and bring it into the city, then make some noise
島袋道浩	2006	2006
南半球のクリスマス(神戸)	写真、他(17点組)	DVD(7枚)
1994	可変	タイプCプリント(11点組)
タイプCプリント、テキスト	21	DVD(各6分30秒)
77×110cm	石川直樹	各60×49.8cm
10	「Ilulissat / GREENLAND #3」	Created in residency programme with Le Pavillon, art
島袋道浩	2006	research laboratory of the Palais de Tokyo, Paris
拾った絵の展覧会	タイプCプリント、フォトアクリル	32
1994	90 × 112 cm	岡崎乾二郎
タイプCプリント、テキスト	22	3時15分
77×110cm	石川直樹	(「あかさかみつげ」シリーズ)
11	「Ilulissat / GREENLAND #5」	1983
島袋道浩	2006	アクリル、顔料、紙、ポリプロピレン、紙、その他
人間性回復のチャンス	タイプCプリント、フォトアクリル	27×17×17cm
1995	90 × 112cm	33
タイプCプリント、テキスト	23	岡崎乾二郎
77×110cm	石川直樹	17時27分
		(「あかさかみつげ」シリーズ)
		1987

ポリプロピレン、紙 25×30×16cm	7 尾長良範 zone 2006年 墨、膠／雲肌麻紙 100×40cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈	各95×70cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈
34 岡崎乾二郎 山の向こうの中腹のちっぽけな村はすでに見えなくなり、ふたたび春が巡ってきた。葡萄の木はあたくも堀の笠石の下を匍う病める大蛇のように見える。生あたたかい空気のなかを褐色の光が動きまわっていた。似たりよったりの毎日が作りだす空白は伐り残した若木まで切り倒すだろう。日々の暮らしのなかで樹木の茂みは岩のように突き出ている。(左) 自分の暮らした村がこんな小さく思われたことはない。太陽が姿をみせた。背の高いポプラの林は風に吹き動かされる砂浜のような格好をしている。切れ目のないその連続を見ているだけで眼がくらんでくる。変り映えしない日々の連続に酔うことができたなら象や蛇をしとめた気にもなれる。蝶が舞うようにそんな風に彼はものを識ったのである。(右) 2004 アクリル／カンヴァス(2点組) 各180×130×5cm	8 尾長良範 zone 2006年 墨、膠／雲肌麻紙 100×40cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈	18 日高理恵子 樹の空間からVII(ドローイングiv-vi) 2000年 鉛筆／紙(3点組) 56×56cm、46×46cm、40×40cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈
35 栗田宏一 ソイル・ライブラリー 2008 日本国内365ヶ所の土、ガラス瓶 各8.8×4.5cm 展示サイズ約16m	9 尾長良範 zone 2006年 墨、膠／雲肌麻紙 100×40cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈	20 松井智恵 LABOUR-21 1995年 水彩紙 108×78cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈
36 大辻清司/編集:大日方欣一 大辻清司 eyewitness 2008 写真(57点組/マット装、箱入り) 発行:東京パブリッシングハウス	10 尾長良範 zone 2006年 墨、膠／雲肌麻紙 100×40cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈	21 松井智恵 LABOUR-22 1995年 水彩紙 108×77.7cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈
寄贈	11 河嶋淳司 脳髓の蝶 1985年 紙本着色 130×162cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈	19 松井智恵 LABOUR-19 1995年 凹レンズ、丸のこ、アルキド絵具 26×2cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈
1 石原友明 I.S.M. Kit-A #2 1991年 塩化ビニル 37×32×21cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈	12 斎藤典彦 ウォーターランド 19 1995年 膠、岩絵具／麻紙 194×260.3cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈	22 松井智恵 LABOUR-25 1995年 丸のこ、アルキド絵具、毛 26×2cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈
2 石原友明 I.S.M. Kit-B #1 1991年 塩化ビニル 34×21×22.5cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈	13 須田悦弘 ガーベラ 1997年 岩絵具／木 6×5.2×24cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈	23 松井智恵 LABOUR-39 1997年 写真 78.7×53.2cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈
3 石原友明 「沈黙。」#1 2000年 鉛筆、点字／紙 52.5×30.4cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈	14 武田州左 DONCHŌ-91140 1991年 紙本着色 227.3×181.8cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈	24 松井智恵 LABOUR-44 1997年 木、毛、イヤリング 26×43×2cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈
4 岡村桂三郎 肉を喰うライオン B 1985年 岩絵具、金箔、膠／雲肌麻紙 197×216cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈	15 武田州左 DONCHŌ III・153 1992年 紙本着色 227.3×181.8cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈	25 松井智恵 LABOUR-40 1997年 ランプ 44×22×12.3cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈
5 岡村桂三郎 犬・魚 1990年 岩絵具、膠／板 103.5×171×7.5cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈	16 日高理恵子 樹の空間からVII 2000年 岩絵具／紙(3点組) 140×140cm、115×115cm、100×100cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈	26 間島秀徳 Kinesis No.294 (hydrometeor) 2006年 水、墨、顔料、アクリル絵具、樹脂膠／パネルに麻紙 240×720cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈
6 岡村桂三郎 無題(龍蛇)ドローイング (B) 1996年 紙本着色 197×429cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈	17 日高理恵子 樹を見上げてVII(ドローイングVI, VII, IX, V) 1993年 鉛筆／紙(4点組)	27 ミッション インヴィジブル 98-01 1998年 糸、フェルト、刺繍枠 21.2×18×2.5cm 賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈
		28 ミッション インヴィジブル

98-02
1998年
糸、フェルト、刺繍枠
21.2×18×2.5cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

29
ミッション インヴィジブル
98-03
1998年
糸、フェルト、刺繍枠
20.8×18×2.5cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

30
ミッション インヴィジブル
98-04
1998年
糸、フェルト、刺繍枠
20.8×18×2.5cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

31
ミッション インヴィジブル
98-10
1998年
糸、フェルト、刺繍枠
43.5×46×2.5cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

32
ミッション インヴィジブル
98-11
1998年
糸、フェルト、刺繍枠
43.5×46×2.5cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

33
森万里子
巫女の折り
1996年
ビデオ(5分×6回)、水晶、カプセル
30×16.5×12cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

34
湯浅龍平
W.F.A. 2
1995年
油彩、アクリル/カンヴァス
167.6×167.6cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

35
湯浅龍平
M.M. 7
1993年
油彩、アクリル/カンヴァス
86.4×86.4cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

36
吉仲太造
安珍の霊
1977年
ガッシュ/紙
45.8×38.5cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

37
吉仲太造
夕方になっても飛べない蝙蝠
1977年
ガッシュ/紙
45.8×38.5cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

38
吉仲太造
遊び過ぎた墓碑は急いで元の位置に
1977年
ガッシュ/紙
56×39cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

39
吉仲太造
夕方に墓碑は位置をかえる
1977年
ガッシュ/紙
56×39cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

40
吉仲太造
うつろな予感
1977年
ガッシュ/紙
45.8×38.5cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

41
吉仲太造
ラブコール
1981年
ガッシュ/紙
40×57cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

42
吉仲太造
アルニカ(コリー)
1979年
ガッシュ/紙
36.5×45cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

43
吉仲太造
ブルーバイオレット(浮雲と風)
1977年
ガッシュ/紙
45.8×38.5cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

44
吉仲太造
花器
1984年
ガッシュ/色紙
26×23.5cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

45
吉仲太造
窓
1984年
油彩/カンヴァス
90.9×72.7cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

46
エリザベス・ペイトン
John Lydon in Dallas '78
1994年
インク/紙
16×12.3cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

47
エリザベス・ペイトン
JOHN BEVERLY + JOHN LYDON IN DALLAS TEXAS
JAN. 1978
1994年
インク/紙
16×12.3cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

48
エリザベス・ペイトン
Kurt (Wedding Hawaii)
色鉛筆/紙
18.8×14.5cm
賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

49
マン・レイ
ローズ・セラヴィ
モノクロプリント
33.5×27cm

賛美小舎(上田國昭・克子)コレクション寄贈

50
中川政昭
「約束の日に」-1 東京都庁舎
1993年
5×7オリジナルフィルム熱変形9枚繋ぎ、光ファイバー、ビニールパイプ、プラスチック、銅線、テグス、接着剤、減圧瓶
径32cm
高さ55cm
中川祥子氏寄贈

51
中川政昭
TYO-No.213 江東区有明2 有明南埠頭公園から10号地方向
1991年
5×7オリジナルフィルム熱変形、テグス、接着剤、減圧瓶
径21~22cm
高さ34~35cm
中川祥子氏寄贈

52
中川政昭
TYO-No.213P 江東区有明2 有明南埠頭公園から10号地方向
1991年
ゼラチンシルバープリント
中川祥子氏寄贈

53
中川政昭
TYO-No.221 江戸川区葛西臨海公園よりディズニールランド
1991年
5×7オリジナルフィルム熱変形、テグス、接着剤、減圧瓶
径21~22cm
高さ34~35cm
中川祥子氏寄贈

54
中川政昭
TYO-No.221P 江戸川区葛西臨海公園よりディズニールランド
1991年
ゼラチンシルバープリント
中川祥子氏寄贈

55
中川政昭
TYO-No.222 千代田区御茶ノ水(駿河台4寄りから秋葉原方向)
1991年
5×7オリジナルフィルム熱変形、テグス、接着剤、減圧瓶
径21~22cm
高さ34~35
中川祥子氏寄贈

56
中川政昭
TYO-No.222P 千代田区御茶ノ水(駿河台4寄りから秋葉原方向)
1991年
ゼラチンシルバープリント
中川祥子氏寄贈

57
中川政昭
TYO-No.225 千代田区永田町1(憲政記念公園下、桜川濠寄り)
1991年
5×7オリジナルフィルム熱変形、テグス、接着剤、減圧瓶
径21~22cm
高さ34~35cm
中川祥子氏寄贈

58
中川政昭
TYO-No.225P 千代田区永田町1(憲政記念公園下、桜川濠寄り)
1991年
ゼラチンシルバープリント
中川祥子氏寄贈

59
矢萩喜從郎
BALLOON

2007年 木 78.5×69.5×59.5cm 作家寄贈	81×57×53.5cm 作家寄贈	70 石川直樹 「Iceberg / Svalbard #2」 2007年 タイプCプリント、フォトアクリル 90×112cm 作家寄贈
60 矢萩喜從郎 BALLOON 2007年 木 78.5×69.5×59.5cm 作家寄贈	65 矢萩喜從郎 LINE 2007年 木 80.5×48×53.5cm 作家寄贈	71 石川直樹 「Iceberg / Svalbard #3」 2007年 タイプCプリント、フォトアクリル 90×112cm 作家寄贈
61 矢萩喜從郎 BALLOON 2007年 木 78.5×69.5×59.5cm 作家寄贈	66 矢萩喜從郎 LEAN 2007年 木 76×55.5×51cm 作家寄贈	72 石川直樹 「Iceberg / Svalbard #4」 2007年 タイプCプリント、フォトアクリル 90×112cm 作家寄贈
62 矢萩喜從郎 BALLOON 2007年 木 78.5×69.5×59.5cm 作家寄贈	67 矢萩喜從郎 BROAD 2007年 木 80.5×48×51cm 作家寄贈	73 石川直樹 「Iceberg / Svalbard #5」 2007年 タイプCプリント、フォトアクリル 90×112cm 作家寄贈
63 矢萩喜從郎 CURRENT 2007年 木 81×57×53.5cm 作家寄贈	68 矢萩喜從郎 CRESCENT 2007年 木 76×55.5×51cm 作家寄贈	74 石川直樹 「Iceberg / Svalbard #6」 2007年 タイプCプリント、フォトアクリル 90×112cm 作家寄贈
64 矢萩喜從郎 SWEEP 2007年 木	69 小鉢公史 母性 2006年 楠、石膏、石、象牙 200×39×29cm 舟越 桂氏寄贈	

[4] 作品貸出状況

総数

年度	平成19年度	年度	平成19年度
貸出先総件数	57	貸出先総作品数	208

内訳

貸出先内訳	貸出作品内訳	
	平成19年度	平成19年度
公立美術館	44	油彩画 66
私立美術館	5	日本画 18
その他新聞社等	5	彫刻・工芸 17
海外	3	素描・水彩 36
		版画 66
		その他 5

[5] 美術資料の修復

1 ジェフ・クーンズ 新品のフーヴァー・コンヴァーティブル、新品のシェルトン・ウエット/ドライ・5ガロン、新品のシェルトン・ウエット/ドライ・5ガロン、変形二段重ね 1981-87年 真空掃除機、アクリル板、蛍光灯 241.5×137.2×71.7cm	3 田崎広助 阿蘇 油彩/カンヴァス 72.2×90.9cm	6 森田茂 バンコックの僧達 1965年 油彩/カンヴァス 145×112cm
2 鈴木千久馬 牧場黎明 1972年 油彩/カンヴァス 96.9×145cm	4 森芳雄 シャンティリーの城 油彩/カンヴァス 50×60cm	7 石川寅治 壇の浦 油彩/カンヴァス 65.1×80.3cm
	5 中村研一 静物 油彩/カンヴァス 59.2×71.5cm	8 高田誠 妙高山 1965年 油彩/カンヴァス 90×60cm

9
藤本由紀夫
EAR WITH CHAIR(MOT)
1990/2007年
アルミニウム、プラスチック、倉俣史朗デザインによる椅子
130×450×200cm

10
ロバート・マンゴールド
Xペインティング
1980年
アクリル、鉛筆／カンヴァス
305×305cm

11
エドワード・ルッシエ
ウェスタン
1969年
油彩／カンヴァス
152.4×137.6cm

12
太田喜二郎
宇治橋
油彩／カンヴァス
45.5×53cm

13
野間仁根
外房州新緑天面漁村
油彩／カンヴァス
50×61cm

14
アンディ・ウォーホル
6枚組の自画像
1969年
アクリル、シルクスクリーン・インク、鉛筆／カンヴァス
169×112cm

15
トニー・アウスラー
1,2,3
1996年
布の人形、スーツケース、プロジェクター、ビデオ、ビデオテープ
31.5×40.6×45.7cm

16
柳幸典
ヒノマル・コンテナー(ヤマトTUMULUS TYPE ¥)
1992年
スチール、鏡、合板、電球、ネオン管

17
北沢映月
三人のモデル
1965年
岩彩／紙
151×171cm

18
南政善
アコーディオンをひく男
1955年
油彩／カンヴァス
162×111.5cm

19
田中敦子
作品(ベル)
1955年
ベル、ノッチ

20-30
小沢剛
地蔵建立シリーズ(11点)
1988-95年
写真

31
エミール=アントワーヌ=プールデル
瀕死のケンタウロス
1925年
水彩／紙
34×47cm

32
レンブラント・ファン・レイン
イサクを愛撫するアブラハム
1637年頃
エッチング
11.5×8.0cm

33
オノレ・ドーミエ
物見高い人々
木炭／紙
32×23cm

34
アンリ・マチス
裸婦
平版印刷
42.5×25.2cm

35
オーギュスト・ロダン
小さなスフィンクス
ブロンズ
h.23.5cm

[6] その他

収蔵庫等における害虫生息調査を行った。

I. 事業報告 | 5 美術図書室の活動

美術図書室は、館の美術情報センターの機能を担い、その機能のうち美術に関する図書資料情報を収集、整理、保存、提供することを活動の目的とする。

一般に公開された美術に関する専門図書館として、都民および一般の来館者に対し、図書資料情報の提供、閲覧、レファレンス、複写等のサービスを行うとともに、当館の美術館事業活動を支援する調査研究機関としての活動を行う。

[1] 図書資料の収集

「東京都現代美術館図書資料収集方針」に基づき、1)日本および海外の現代美術に関するもの、2)それらを理解するために必要なもの、を購入および寄贈により収集した。

①図書

図書 856冊(和図書 750冊・洋図書 106冊)、展覧会カタログ 1,030冊(和カタログ 829冊・洋カタログ 201冊)の計1,886冊を新たに収集した。

都内公立図書館や個人等からの寄贈の申し入れについては、その後の処理を当方に任せってもらうことを条件に、受け入れている。

②雑誌

継続購入による閲覧用雑誌は、和59タイトル、洋36タイトルである。寄贈雑誌は、新たに73タイトルを受入れた。また、所蔵雑誌の充実を図るため、雑誌のバックナンバーおよび欠号の補充等に努めた。

美術関係記事の新聞切り抜きの原紙4,003枚を購入により収集した。

[2] 図書資料の整理

①整理業務

図書、展覧会カタログ、年鑑類の自館整理による新規整理冊数は、1,926冊である。今後はMARCの効率的・積極的な活用により、整理作業の効率を高めていくことが課題である。

新着雑誌および欠号、バックナンバー補充をした雑誌の受入(整理)冊数は、3,695冊である。

②特別整理

19年度は、下記の日程で実施した。

10月の特別整理(10月11日～19日)は正味6日間の日程で、特別文庫(山尾、渡辺、奥瀬文庫)について実施した。蔵書確認とその事後処理として、パラフィンがけなど、劣化資料の保護作業を行った。

1月の特別整理(1月29日～31日)は正味3日間の日程で、岡本文庫(400件)について実施した。所蔵確認とその事後処理として、パラフィンがけなど、劣化資料の保護作業を行った。

[3] サービス業務

19年度の開室日数は272日であった。当室は、美術に関する専門図書館として一般に公開しているが、一般利用者への個人貸出は実施していない。

入室者数は21,666人であった。

③その他の図書資料

年鑑類は、40冊を新たに収集した。CD-ROM形態で刊行される美術関係資料は、利用に供するための条件整備を図る方策を模索しながら、印刷資料で代替できないものを中心に収集している。

③図書資料保存対策

閲覧による提供および蔵書点検時に発見された破損等のある図書資料 29冊を再製本(外注)することによりその保全を図った。再製本に適さない劣化した図書資料については、中性紙の保護ケース(カイルラッパー)や保存用封筒等に収納するとともに、複写資料を作成し、それを閲覧に供することにより、利用と保存の両立を図った。

①蔵書検索

平成15年9月より、インターネットによる蔵書検索システム(OPAC)を稼動した。アクセス件数は、毎月1万件を超えている。また、来館者向けの図書資料の検索には、美術図書室内にOPACを3台を提供している。またシステムに載らない中国語、韓国語、ロシア語の図書資料については、カードによる分類目録と美術作家名目録を整備し、利用に供している。

②閲覧

出納による書庫内図書資料の利用冊数は17,239冊(1日平均63冊)である。1日平均の冊数は前年並みである。

また、戦前の主要美術雑誌の多くはマイクロフィルムによる閲覧となるため、マイクロ・リーダーとマイクロ・プリンターでの利用提供をしている。

③レファレンス・サービス

美術に関する図書資料についての質問および所蔵状況の問合せ等(レファレンス)は1,368件(1日平均5件)であった。その内訳は、来館によるもの1,002件、電話によるもの366件である。電話レファレンスは公共図書館や大学・専門図書館等からのものが引き続き増えている。FAXによる問合せ、文書による問い合わせは、平成13年以降中止している。

質問内容としては、特定作家の関連資料を求めるもの、過去に開催された展覧会カタログの所蔵確認が多い。これら質問等に当室所蔵図書資料で回答、提供できなかったものおよび今後のサービスに役立つ回答、調査経過等については記録票を作成し、ファイルして活用している。

簡単な利用案内、施設案内等(インフォメーション)は、来館・電話合わせて、17,430件あった。

④複写サービス

「東京都現代美術館美術図書室複写サービス実施要綱」に基づき、当室所蔵の図書資料について著作権の範囲内で複写サービスを実施している。

複写サービスの利用は、19年度は40,847枚(1日150枚)で、前年度比5%減となった。このうち、マイクロ複写の利用枚数は1,920枚であった。また、コピー機による複写は、カラー複写6,550枚、白黒複写30,485枚の利用があり、およそ5枚につき1枚がカラー複写である。プリンター及びコピー機各1台で対応しているため、順番待ちになることもある。

カメラ器材持ち込みによる図書資料撮影は、美術関係誌・展覧会カタログへの掲載やテレビ放映等を目的とするもの等について、著作権のある図書資料は著作権者の許諾書添付を条件として申込みを受付けている。事前申込制であり、19年度の申込みは5件であった。

⑤利用案内

美術館ホームページ上で、新着図書・カタログ・雑誌の紹介を継続的に掲載した。

また、図書室利用案内を館内各所に設置した。

[4] 美術館事業への支援・事業との連携

①学芸活動及び調査研究への支援

企画展準備等に必要図書資料の職員貸出を実施した。企画展関連図書資料の購入希望については、可能な限り対応するとともに、急行整理により速やかに提供するよう努めた。

②企画展、MOTコレクション関連資料コーナー

企画展およびMOTコレクション関連資料コーナーを設け、当室の蔵書の中からこれらに関連する資料を随時展示、紹介した。また関連資料リストを作成し展示室内で配布した。

[5] 他の美術館・関係団体等との連携

①団体貸出

当室所蔵図書資料を美術館等が展覧会展示に利用する場合に限り、「東京都現代美術館美術作品貸付要綱」に準拠し、団体貸出を実施している。

19年度は、5件47点の貸出があった。

②新着資料コーナーの設置

「新着資料コーナー」を設け、新しく受入れた図書、展覧会カタログを、継続的に紹介した。

③美術図書館横断検索の実施

平成16年3月より、東京国立近代美術館、横浜美術館、当館美術図書室の所蔵図書資料を、各館のホームページから横断的に検索できるサービスを開始した。平成19年3月には、8館10室での実施となった。

[6] その他の活動等

①図書室および図書システムの視察、調査等

美術図書室への視察、調査、アンケート等への受入・対応を行った。

その主な内容は、美術館開設準備のための調査や図書資料の収集・整理等に関するものであった。

③作品展示

「SPACE FOR YOUR FUTURE」展(2007年10月27日～2008年1月20日)の関連企画として会期中、図書閲覧室において植原亮輔と渡邊良重の作品《時間の標本／Specimen of Time》2007を展示ケース内に展示。

②博物館実習生の受入れ

館の博物館学実習カリキュラムの中で、11月20日(火)午前半日、図書室での参考調査実習を実施した。

「川俣 正[通路]」展(2008年2月9日～4月13日)

展覧会のタイトルが示すとおり美術館の中に通路をめぐらすというもので、ロビーを通り図書閲覧室のなかにも[通路]がとり付けられた。



「SPACE FOR TOUR FUTURE」展



「川俣 正(通路)」展

[7] 美術図書室の統計

(1) 図書資料の受入統計

① 図書・展覧会カタログ

		都美より 移管	3-9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	計	
和書	図書	購入	20,634	6,800	1,858	1,709	1,679	1,881	2,240	750	689	988	608	495	40,331
		寄贈		1,613	418	312	431	549	62	240	254	437	354	256	4,926
		小計	20,634	8,413	2,276	2,021	2,110	2,430	2,302	990	943	1,425	962	750	45,257
	カタログ	購入	33,343	121	67	30	50	90	185	56	30	17	51	36	34,076
		寄贈		5,022	1,261	928	1,400	2,356	931	741	1,431	810	774	793	16,447
		小計	33,343	5,143	1,328	958	1,450	2,446	1,116	797	1,461	827	825	829	50,523
計	53,977	13,556	3,604	2,979	3,560	4,876	3,418	1,787	2,404	2,252	1,787	1,580	95,780		
洋書	図書	購入	2,998	2,985	197	241	180	240	333	188	36	118	74	80	7,670
		寄贈		348	81	10	73	39	0		3	78	46	26	704
		小計	2,998	3,333	278	251	253	279	333	188	39	196	120	106	8,374
	カタログ	購入	1,076	1,752	50	83	180	180	264	192	64	95	119	143	4,198
		寄贈		1,619	173	50	154	141	227	527	56	250	229	58	3,484
		小計	1,076	3,371	223	133	334	321	491	719	120	345	348	201	7,682
計	4,074	6,704	501	384	587	600	824	907	159	541	468	307	16,056		
合計	図書	購入	23,632	9,785	2,055	1,950	1,859	2,121	2,573	938	725	1,106	682	575	48,001
		寄贈		1,961	499	322	504	588	62	240	257	515	400	282	5,630
		小計	23,632	11,746	2,554	2,272	2,363	2,709	2,635	1,178	982	1,621	1,082	856	53,631
	カタログ	購入	34,419	1,873	117	113	230	270	449	248	94	112	170	179	38,274
		寄贈		6,641	1,434	978	1,554	2,497	1,158	1,268	1,487	1,060	1,003	851	19,931
		小計	34,419	8,514	1,551	1,091	1,784	2,767	1,607	1,516	1,581	1,172	1,173	1,030	58,205
年間増加冊数	購入	58,051	11,658	2,172	2,063	2,089	2,391	3,022	1,186	819	1,218	852	754	86,275	
寄贈		8,602	1,933	1,300	2,058	3,085	1,220	1,508	1,744	1,575	1,403	1,133	25,561		
小計	20,260	4,105	3,363	4,147	5,476	4,242	2,694	2,563	2,793	2,255	1,886	53,785			
蔵書総数		58,051	78,311	82,416	85,779	89,926	95,402	99,644	102,338	104,901	107,694	109,949	111,835	-	

② マイクロ資料 ※14年度以降、17年度まで受入実績なし

種別		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	18年度	19年度	計
マイクロフィルム (35mm)	自館制作	マスター	-	-	-	-	73	27	14	-	-	-	-	114
		デュープ	-	3	-	-	73	27	14	-	43	-	-	160
	購入	157	-	-	50	-	48	-	38	-	100	8	-	401
	寄贈	-	-	-	-	-	-	-	33	15	-	-	-	48
マイクロフィルム (16mm)	自館制作	マスター	6	47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53
		デュープ	7	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	55
合計(ルール)	マスター	6	47	-	-	73	27	14	-	0	-	-	-	167
	デュープ	164	51	-	50	73	75	14	71	58	100	8	-	556
	計	170	98	-	50	146	102	28	71	58	100	8	-	723
マイクロフィッシュ(枚)	購入	デュープ	-	6,232	2,226	-	-	-	-	-	-	-	-	8,458

(2) 図書資料の整理統計(19年度)

	図書	カタログ	年鑑	計
和	750	829	40	1,619冊
洋	106	201	0	307冊
	856	1,030	40	1,926冊

(3) 美術図書室利用統計

① 平成19年度(月別)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開室日数	15	27	26	26	28	26	11	26	23	20	18	26	272日
入室者数 (日平均)	928 61.9	1,628 60.3	1,557 59.9	1,394 53.6	2,944 105.1	2,657 102.2	667 60.6	1,987 76.4	2,418 105.1	3,228 161.4	948 52.7	1,310 50.4	21,666件 80人
レファレンス (日平均)	112 7.5	151 5.6	170 6.5	126 4.8	155 5.5	135 5.2	43 3.9	101 3.9	81 3.5	77 3.9	63 3.5	154 5.9	1,368件 5件
予約セッション (日平均)	687 45.8	1,241 46.0	1,285 49.4	1,163 44.7	2,473 88.3	2,326 89.5	729 66.3	1,837 70.7	1,561 67.9	1,650 82.5	714 39.7	1,764 67.8	17,430件 64件
出納 (日平均)	1,028 68.5	1,434 53.1	1,492 57.4	1,334 51.3	3,037 108.5	2,486 95.6	527 47.9	1,402 53.9	1,192 51.8	1,037 51.9	845 46.9	1,425 54.8	17,239冊 63冊
複写サービス (日平均)	2,221 148.1	3,999 148.1	3,959 152.3	3,612 138.9	3,826 136.6	4,612 177.4	1,397 127.0	4,239 163.0	3,252 141.4	3,448 172.4	1,854 103.0	4,428 170.3	40,847枚 150枚

I. 事業報告 | 6 美術情報センター

美術情報センターの活動

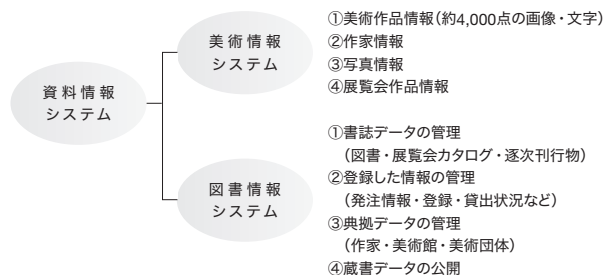
- (1) 当館が所蔵する作品とその作家、及び展覧会に出品された作品と作家についての画像及び文字情報と、当館所蔵の図書、雑誌、展覧会カタログならびに国内外の優れた美術情報を簡易に提供する。
- (2) インターネットを利用し、来館者が見たい情報を自由に選べる「楽しみながら美術を鑑賞する」場所を提供する。
- (3) 大量の美術情報データを正確に整理・保管し、また、検索条件により必要な美術情報を迅速に得ることにより、職員の展覧会企画や研究などの業務の効率化を図る。
- (4) 各種業務支援機能により、作品収集・貸出事務や図書室事務の効率化を図る。

以上のような活動を行う当館の美術情報センターは、次のシステムで構成される。

- ① 資料情報システム
- ② インターネットカフェ

① 資料情報システムの概要

資料情報システムは次のデータベースからできている



② インターネットカフェの概要

インターネットカフェは来館者が専用端末にアクセスすることにより、情報を検索できる。

設備概要	インターネット専用端末	5台
	プラズマディスプレイ(50型)	1台

II. 資料 | 1 美術情報センター

[1] 平成19年度現代美術館月別利用統計

区分 月	展覧会入場者			講堂			第一研修室			第二研修室			映像 ギャラリー	美術図書室				
	企画展	常設展	計	開館 日数	貸出 日数	稼働率	開館 日数	貸出 日数	稼働率	開館 日数	貸出 日数	稼働率	利用者数	利用者	レファ レンス	インフォメ ーション	利用 図書	コピー サービス
	人	人	人	日	日	%	日	日	%	日	日	%	人	人	人	人	冊	枚
4月	6,747	3,531	10,278	14	8	57.1%	14	4	28.6%	14	3	21.4%	2,271	928	112	687	1,028	2,221
5月	10,220	11,806	22,026	27	10	37.0%	27	11	40.7%	27	12	44.4%	4,172	1,628	151	1,241	1,434	3,999
6月	15,670	12,478	28,148	27	9	33.3%	27	4	14.8%	27	7	25.9%	4,591	1,557	170	1,285	1,492	3,959
7月	30,390	9,235	39,625	27	7	25.9%	27	8	29.6%	27	6	22.2%	4,255	1,394	126	1,163	1,334	3,612
8月	116,371	20,696	137,067	28	12	42.9%	28	6	21.4%	28	4	14.3%	9,249	2,944	155	2,473	3,037	3,826
9月	151,056	21,387	172,443	26	9	34.6%	26	5	19.2%	26	8	30.8%	8,320	2,657	135	2,326	2,486	4,612
10月	8,065	4,163	12,228	11	6	54.5%	11	5	45.5%	11	4	36.4%	1,391	667	43	729	527	1,397
11月	13,852	9,918	23,770	26	11	42.3%	26	14	53.8%	26	9	34.6%	4,004	1,987	101	1,837	1,402	4,239
12月	15,696	9,981	25,677	23	4	17.4%	23	3	13.0%	23	8	34.8%	3,835	2,418	81	1,561	1,192	3,252
1月	22,822	15,541	38,363	20	3	15.0%	20	1	5.0%	20	2	10.0%	4,290	3,228	77	1,650	1,037	3,448
2月	11,339	6,069	17,408	18	6	33.3%	18	0	0.0%	18	5	27.8%	2,773	948	63	714	845	1,854
3月	14,485	9,562	24,047	26	13	50.0%	26	11	42.3%	26	13	50.0%	3,752	1,310	154	1,764	1,425	4,428
計	416,713	134,367	551,080	273	98	35.9%	273	72	26.4%	273	81	29.7%	52,903	21,666	1,368	17,430	17,239	40,847

II. 資料 | 2 平成19年度東京都現代美術館予算概要

[1] 受託事業

(千円)

事業名	予算額
美術館維持管理	500,109
常設展の開催	13,310
美術館教育	2,215
美術情報センターの運営	29,941
美術図書室の運営	11,124
美術資料の収集管理	14,097
収蔵作品の購入	80,000
美術館管理運営	55,959

[2] 一般会計事業

事業名	予算額
展覧会事業	179,009
ワークショップ	1,452
MOT美術講座	536
友の会の運営	2,751
事業管理	9,001

[3] 付帯事業

事業名	予算額
アートショップの運営	58
レストランの運営	3,904
駐車場の運営	6,060
その他事業	332
事業管理	1,068

II. 資料 | 3 運営組織

[1] 職員名簿 平成19年度東京都現代美術館

20.3.31現在

課	係	職名	氏名	課	係	職名	氏名		
	館	長	氏家齊一郎			事業係長(学芸)	横江 文憲		
	副	館長	板垣 一典			次席(学芸)	加藤 弘子		
管 理 課	管理課長		(副館長事務取扱)	事 業 係		主事(学芸)	藤井 亜紀		
	管理係	課長補佐(管理係長)			吉田 秀明		主事(学芸)	藪前 知子	
		主任(学芸)			田中 実穂		主事(学芸)	村田 康祐	
		主事			原澤 香里		教育普及係長(学芸)	郷 泰典	
	経理係	経理係長			鈴木清一郎	事 業 企 画 課		主任(学芸)	関 昭郎
		次席			北條 光昭			主任(学芸)	森 千花
事業企画課長			長谷川祐子		主事(学芸)		武内 厚子		
事 業 企 画 課	企画係 (企画班)	企画係長		住友 文彦	教 育 普 及 係		図書館司書	鍋木あづさ	
		主任(学芸)		関 直子			図書館司書	長谷川菜穂	
		主事(学芸)		山本 雅美			図書館司書	森田 夏記	
	企画係 (学芸班)	主任(学芸)		森山 朋絵		図書館司書	岩田 郁子		
		主事(学芸)		鎮西 芳美		一般事務	水谷 香恵		
		主事(学芸)		西川美穂子		一般事務	早川 智子		
専門調査委員		難波 祐子							
企画係 (広報班)	主事		尻無浜薫子						

[2] 運営諮問委員会及び外部評価委員会

東京都現代美術館運営諮問委員会委員

	氏名	性別	現職
学識 経験者等	いしかわ じろう 市川 治郎	男	東京都教職員研修センター研修部 教育開発課統括指導主事
	いしかわ よしまさ 市川 芳正	男	(社)東京のあすを創る協会会長
	けんじょう みぎさこ 見城 美枝子	女	青森大学教授
	こいけ かずこ 小池 一子	女	武蔵野美術大学名誉教授
	さかい ただやす 酒井 忠康	男	世田谷美術館館長
	たかしな しゅうじ 高階 秀爾	男	大原美術館館長
	たぐち ひろし 田口 弘	男	(株)ミスミ取締役
	にしまつ のりひろ 西松 典宏	男	元NHKエデュケーショナル・エグゼクティブ・ プロデューサー
まおち あきこ 馬淵 明子	女	日本女子大学教授	

(任期 平成18年4月1日から平成20年3月31日まで)

東京都現代美術館外部評価委員会委員

	氏名	性別	現職
学識 経験者等	こばやし やすお 小林 康夫	男	東京大学総合文化研究科教授 (専攻、表象文化論)
	むらい よしこ 村井 良子	女	プランニング・ラボ代表取締役 (展示学会理事)
	ピーター・バラカン	男	ブロードキャスター
	ことう しげお 後藤 繁雄	男	エディター、京都造形芸術大学 プロデュース科教授
	ふくたけ まういちろう 福武 総一郎	男	財団法人直島福武美術館財団理事長・地中美術館館長、 ベネッセコーポレーション会長
	わけべ としひろ 分部 登志弘	男	深川資料館通商店街協同組合 副理事長
	えはら きみこ 江原 貴美子	女	東京都現代美術館ボランティアスタッフ

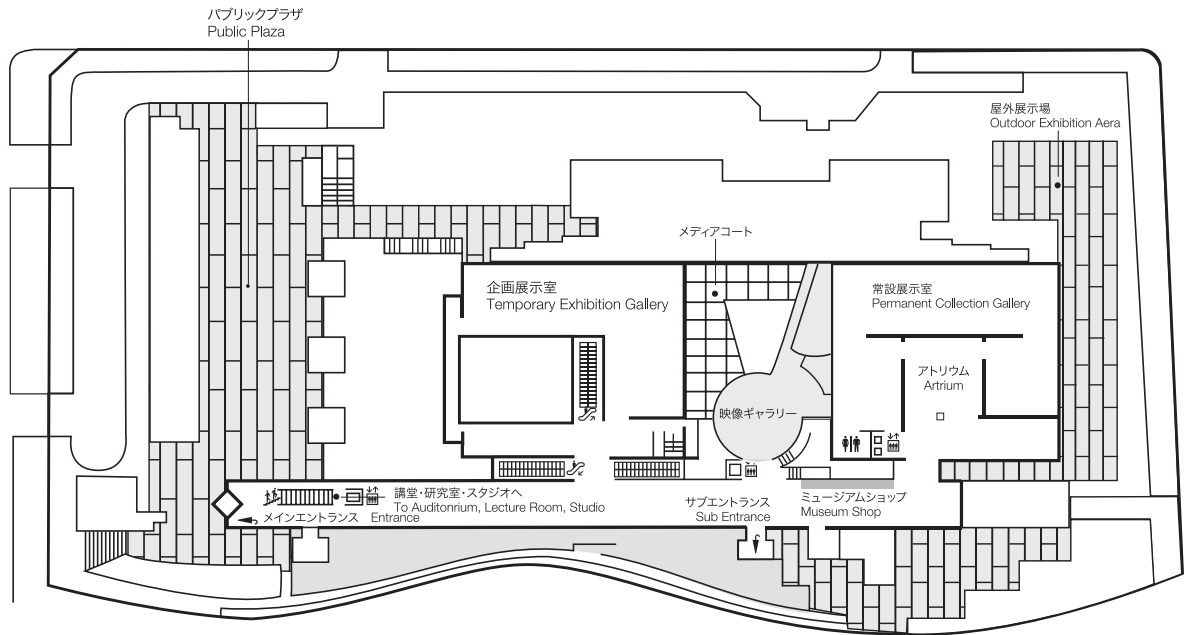
(任期 平成19年9月15日から平成22年3月31日まで)

II. 資料 | 4 施設概要

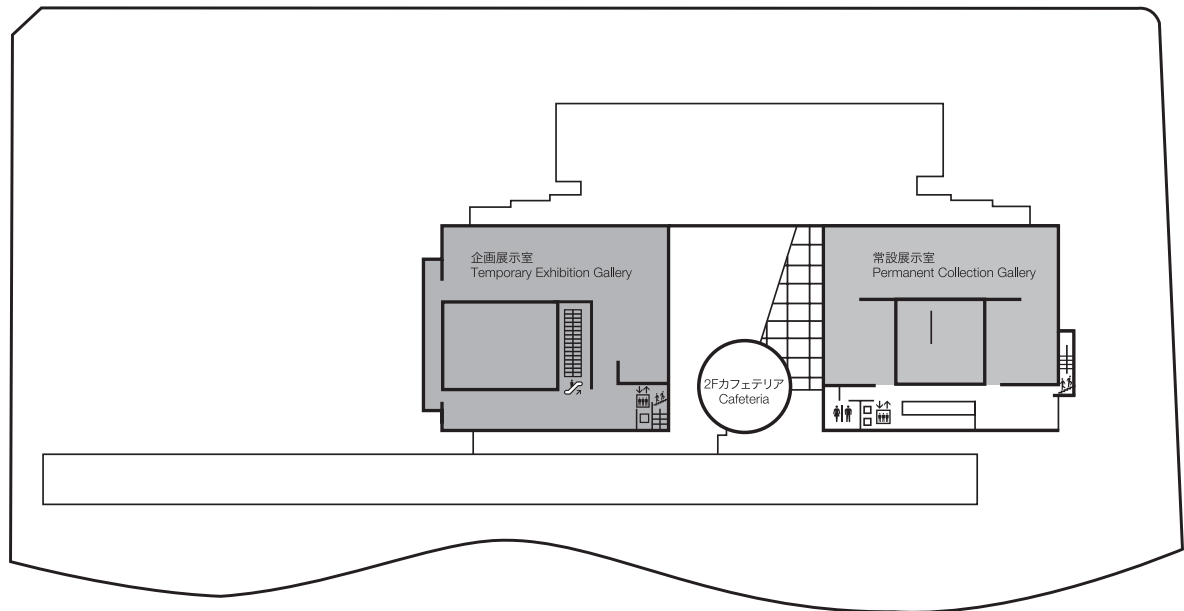
施設概要

敷地面積	23,780㎡
建物面積	33,515㎡
企画展示室	4,300㎡
地下2階企画展示室	1,860㎡
アトリウム天井高 19m	
1階企画展示室	1,200㎡
3階企画展示室	1,240㎡
常設展示室	3,100㎡
1階企画展示室	1,670㎡
アトリウム天井高13m	
3階企画展示室	1,430㎡
エントランスホール	1,582㎡
幅10m×高さ8m×奥行き140m	
収蔵庫	
第一収蔵庫	534㎡
第二収蔵庫	423㎡
第三収蔵庫	330㎡
美術図書室	780㎡
美術館連図書資料：11万1千冊	
講堂	366㎡
座席200席(ロールバックチェア)	
200インチスクリーン、ビデオプロジェクター完備	
第一研修室	72㎡
第二研修室	83㎡
スタジオ	83㎡
映像ギャラリー	432㎡
レストラン	415㎡
カフェテリア	200㎡
サンクンガーデン(屋外)	1,050㎡
石と水のプロムナード(屋外)	690㎡
地下駐車場(B1F-B3F)	5,330㎡

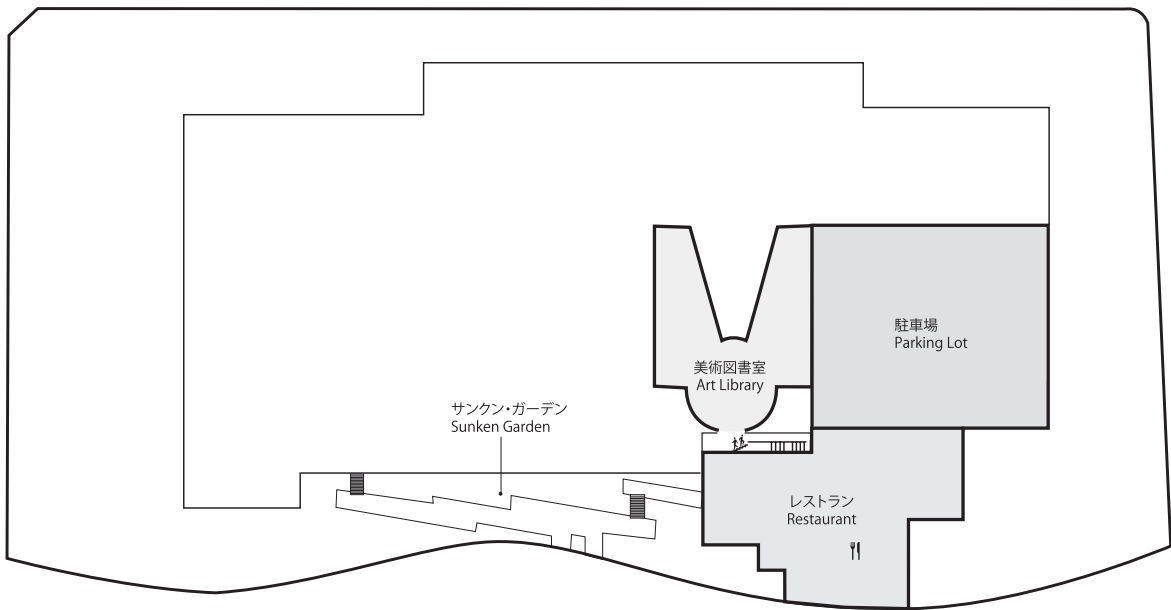
1階平面図



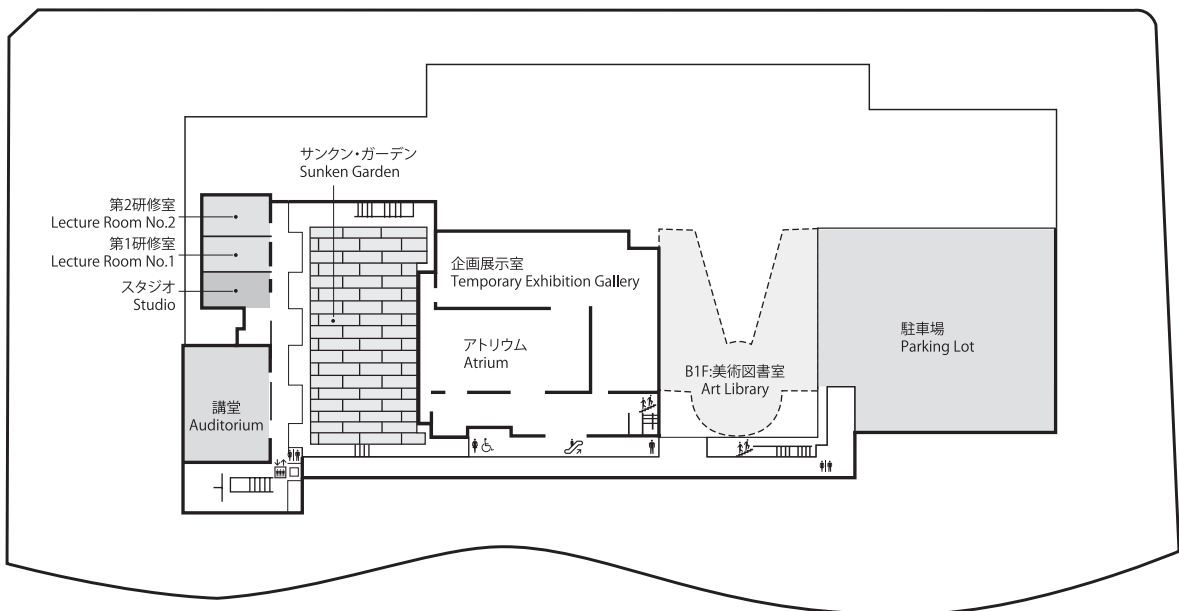
2階平面図



地下1階平面図



地下2階平面図





所在地 〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1(都立木場公園内) ☎03-5245-4111(代)

- 交通
- ・東京メトロ半蔵門線「清澄白河駅」B2出口より、徒歩9分
 - ・都営地下鉄大江戸線「清澄白河駅」A3出口より、深川資料館通り経由徒歩13分
 - ・東京メトロ東西線「木場駅」より、徒歩15分または都バスで「東京都現代美術館前」下車
 - ・都営地下鉄新宿線「菊川駅」より、徒歩15分または都バスで「東京都現代美術館前」下車
(「東京都現代美術館前」は、都バス・業10系統(新橋～業平橋駅)の利用です。)
 - ・JR総武線「錦糸町駅」より、都バス・錦13系統(錦糸町～深川車庫・晴海埠頭)で「石島」下車、徒歩約5分
 - ・JR「東京駅」丸の内北口より、都バス東20系統「東京都現代美術館」下車